



2017年1月号
投信マーケット
MAB アナリスト・アイ

2017年1月20日作成



目次

I. 投信マーケットの動き

12月の市場動向	P 4
投資信託全体	P 5 ~ P 1 0
国内株式	P 1 1
国内債券	P 1 2
先進国株式	P 1 3
エマージング株式	P 1 4
先進国債券	P 1 5
エマージング債券	P 1 6
ハイイールド債券	P 1 7
REIT	P 1 8
複合資産	P 1 9
資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移	P 2 0 ~ P 2 5

II. 今月のトピック

『変額保険のメリットとは?』	P 2 6 ~ P 3 4
----------------	---------------

I . 投信マーケットの動き

金融市場動向

- ◆ 12月の金融市場は、米トランプ次期政権による財政政策への期待が継続し、米国を中心とする先進国株式が一段と上昇、為替は米ドルが主要通貨に対し全面高となった。また、米国において堅調な経済指標が示される中、FRB(米連邦準備制度理事会)が利上げペースを上方修正したことや、OPEC(石油輸出国機構)加盟国と非加盟国の協調減産合意により原油価格が上昇したことも株価を押し上げた。
- ◆ 株式市場は、日本では、円安の進行等から上昇基調で推移し、日経平均株価は年初来高値を更新した。また、米国においても、堅調な経済指標を追い風に主要株価指数は史上最高値を更新する動きとなった。新興国では、米国の保護主義政策による経済下振れ懸念や米ドルの上昇による資金流出懸念が重しとなり、弱含みの推移となった。
- ◆ 債券市場は、米国では長期金利の上昇にやや一服感が漂い、日本、欧州では各中央銀行より緩和姿勢の維持が示されたものの、長期金利はプラス圏でほぼ横ばいとなった。
- ◆ 為替市場は、米国の拡張的財政政策による経済上振れ期待が維持され、主要通貨に対し米ドル高基調が継続した。

投信マーケット動向

- ◆ 12月の公販ファンドの資金流入(流出)は6,570億円の流出超となった。トランプ新大統領の政策への期待による上昇相場が継続した一方、1月20日に発足する新政権の動向を見極めたいという思惑も重なったことで、利益確定売りの動きが広がった。
- ◆ 資金流入では、先進国株式(1,120億円)、エマージング債券(100億円)のみにとどまった。個別ファンドでは、新規設定ファンドの「世界中小型株式ファンド」(630億円)が1位、「LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)」(476億円)、「グローバルAIファンド」(291億円)、「フィデリティ世界医療機器関連株F(為替ヘッジなし)」(267億円)と続いており、すべてが先進国株式型となっている。
- ◆ 資金流出では、国内株式(4,830億円)、先進国債券(980億円)、REIT(790億円)となっている。日経平均株価が年初来最高値を更新した国内株式型から利益確定の売りが出て多額の資金が流出した。
- ◆ 資産別のリターンでは、前月と比べると、新興国資産のパフォーマンスが向上した。トランプショックによる新興国通貨の下落が各国の通貨防衛策等により落ち着きを取り戻しつつあることで、一部の新興国では持ち直しの動きがみられている。

💡 パフォーマンスは投資信託全体で上昇基調

- 円安の一層の進行等により、幅広い資産でパフォーマンスが向上した。投信市場全体の動向を示すMAB 300は、直近3カ月で約10%の上昇となった。
- 前月と比べると、新興国資産のパフォーマンスが向上している。トランプショックによる新興国通貨の下落が各国の通貨防衛策等により落ち着きを取り戻しつつあることで、一部の新興国では持ち直しの動きがみられた。

<各資産のリターン順位の推移> 2016年1月～2016年12月の月次、直近3カ月・直近6カ月・1年間

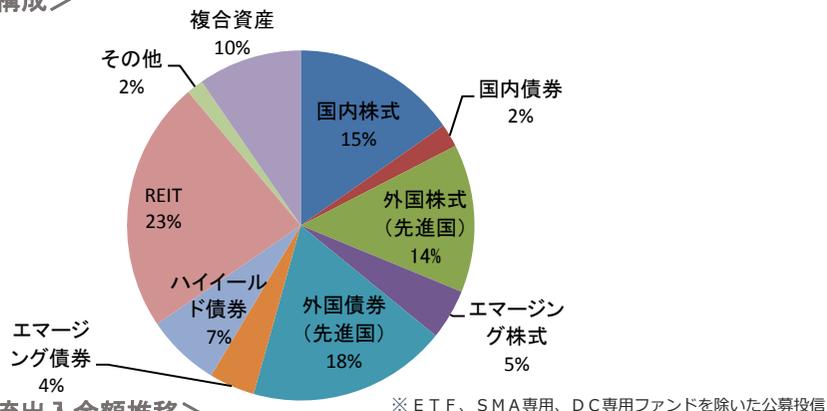
	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	2016年11月	2016年12月	直近3カ月	直近6カ月	直近1年
リターン 上位	国内債券 0.6%	国内債券 0.7%	エマーヅング株式 10.6%	ハイイールド債券 1.4%	国内株式 2.3%	国内債券 0.8%	エマーヅング株式 7.1%	エマーヅング株式 0.7%	国内株式 1.2%	国内株式 5.2%	先進国株式 7.1%	先進国株式 5.7%	先進国株式 14.7%	国内株式 20.1%	ハイイールド債券 10.8%
	先進国債券 -1.5%	REIT -0.2%	エマーヅング債券 6.9%	先進国株式 0.6%	国内債券 0.2%	エマーヅング債券 -1.4%	先進国株式 6.3%	ハイイールド債券 0.3%	国内債券 0.1%	ハイイールド債券 3.9%	国内株式 4.9%	ハイイールド債券 5.2%	国内株式 14.6%	先進国株式 19.4%	エマーヅング債券 8.6%
	エマーヅング債券 -2.9%	エマーヅング債券 -2.8%	国内株式 6.7%	エマーヅング株式 0.5%	先進国株式 -0.3%	REIT -3.7%	REIT 4.9%	エマーヅング債券 0.0%	ハイイールド債券 -0.4%	エマーヅング債券 3.0%	先進国債券 3.7%	エマーヅング債券 5.2%	ハイイールド債券 12.8%	ハイイールド債券 17.9%	先進国株式 3.7%
	REIT -4.2%	先進国株式 -3.1%	ハイイールド債券 6.6%	国内債券 0.5%	先進国債券 -0.8%	ハイイールド債券 -4.0%	国内株式 4.7%	先進国債券 -0.6%	エマーヅング債券 -0.5%	エマーヅング株式 2.9%	REIT 3.6%	REIT 4.8%	エマーヅング債券 9.0%	エマーヅング株式 14.9%	エマーヅング株式 3.6%
	ハイイールド債券 -4.5%	ハイイールド債券 -3.4%	先進国株式 6.6%	エマーヅング債券 0.3%	REIT -0.9%	エマーヅング株式 -4.1%	ハイイールド債券 4.6%	国内債券 -0.7%	エマーヅング株式 -0.9%	先進国債券 2.0%	ハイイールド債券 3.2%	国内株式 3.8%	先進国債券 8.8%	エマーヅング債券 11.4%	REIT 2.8%
	国内株式 -7.7%	エマーヅング株式 -3.6%	REIT 5.9%	REIT -0.4%	ハイイールド債券 -1.8%	先進国債券 -4.8%	エマーヅング債券 2.7%	先進国株式 -0.7%	先進国債券 -1.3%	先進国株式 1.3%	エマーヅング株式 1.3%	エマーヅング株式 3.2%	エマーヅング株式 7.5%	先進国債券 9.4%	国内債券 1.3%
	先進国株式 -9.3%	先進国債券 -4.5%	先進国債券 3.5%	国内株式 -0.6%	エマーヅング株式 -2.3%	先進国株式 -7.6%	先進国債券 2.5%	国内株式 -1.1%	先進国株式 -1.4%	国内債券 -0.2%	エマーヅング債券 0.6%	先進国債券 2.9%	REIT 6.0%	REIT 6.8%	国内株式 0.4%
リターン 下位	エマーヅング株式 -10.2%	国内株式 -8.7%	国内債券 0.4%	先進国債券 -1.5%	エマーヅング債券 -2.4%	国内株式 -8.6%	国内債券 -0.5%	REIT -2.3%	REIT -1.7%	REIT -2.3%	国内債券 -0.4%	国内債券 -0.3%	国内債券 -0.9%	国内債券 -2.0%	先進国債券 -1.0%
MAB 300	-5.0%	-4.0%	5.1%	-0.3%	0.0%	-4.9%	4.1%	-1.0%	-0.6%	1.7%	3.9%	4.1%	9.9%	12.5%	2.4%

※ E T F、S M A 専用、D C 専用ファンドを除いた公募投信

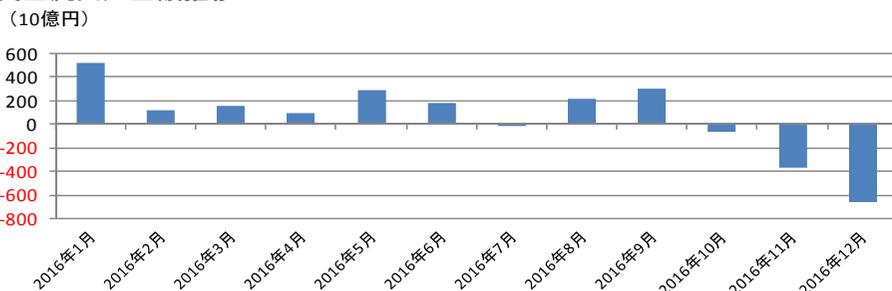
💡 3カ月連続の資金流出超、流出額も拡大

- 12月の公販ファンドの資金流入（MAB推計）は6,570億円の流出超となった。資金流入は、先進国株式、エマージング債券のカテゴリーのみにとまっている。
- 一方で、国内株式からは4,830億円もの多額な資金が流出した。日経平均株価が年初来高値を付ける中、利益確定売りの動きが広がっている。

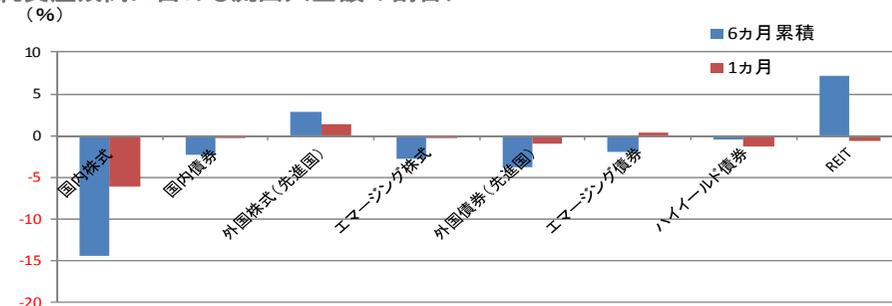
<残高構成>



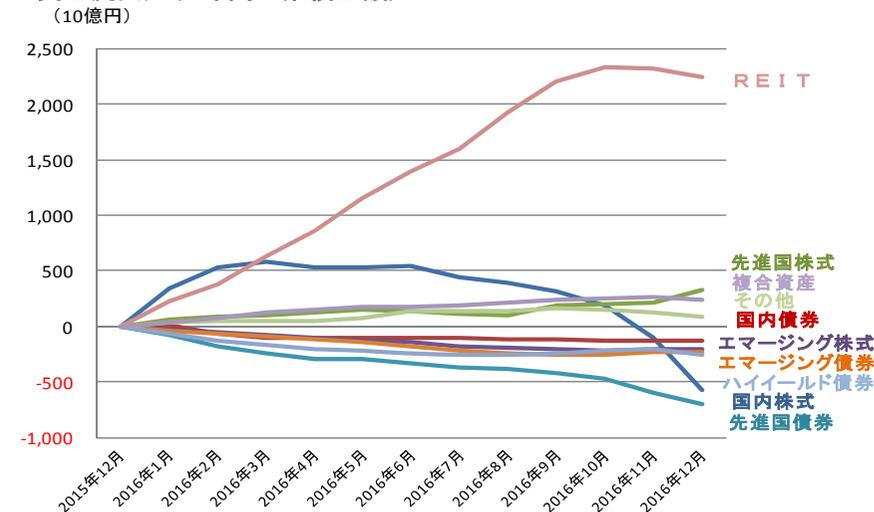
<資金流入金額推移>



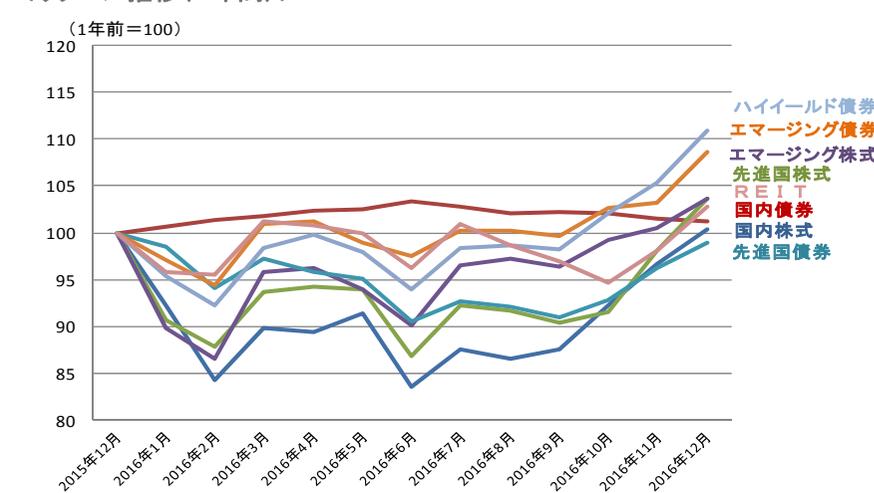
<純資産残高に占める流出金額の割合>



<資金流入(1年間の累積金額)>



<リターン推移(1年間)>



💡 REITは日米で対照的な動き

- REITについては、分配金の削減に加えて長期金利の上昇を嫌気し、米国、グローバル地域等から資金が流出した一方、J-REITには資金が流入した。日本は、長期金利が上昇基調にある米国等と比べると、日銀の長短金利操作政策により低金利環境が維持されており、J-REITの投資魅力は依然として高いと考えられている。
- 先進国株式については、新規設定ファンドを中心に資金流入が継続している。

＜各資産の資金流出入の推移＞ 2016年1月～2016年12月の月次、直近3か月間・直近6か月間・1年間

(単位:10億円)

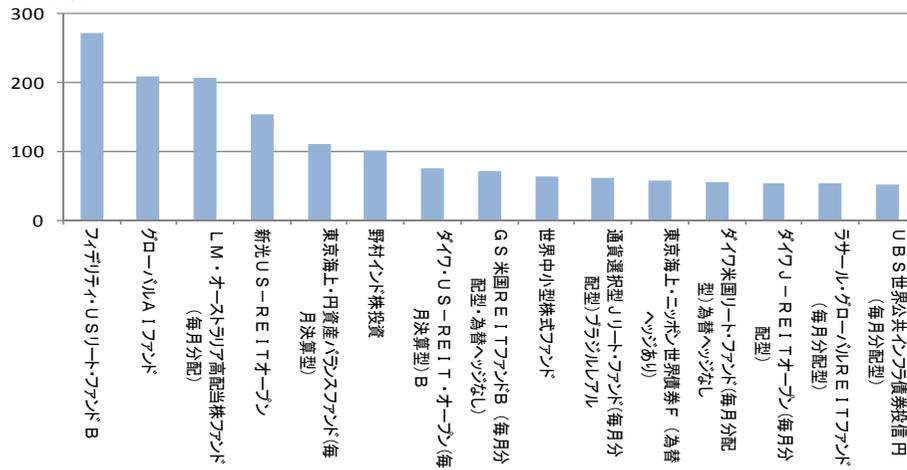
	純資産残高	資金流出入															
		2016年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	2016年11月	2016年12月	直近3か月	直近6か月	1年
国内株式	一般	5,584	185	111	42	-21	-11	-40	-64	-52	-55	-79	-157	-272	-508	-679	-414
	小型	479	0	-1	-8	-13	-7	6	2	3	-6	-5	-3	9	1	0	-22
	インデックスその他	1,953	158	74	16	-19	21	46	-31	-7	-10	-52	-121	-220	-392	-441	-144
国内債券	一般	1,032	8	-76	-37	-6	-1	-2	-4	-10	-9	-1	-0	6	5	-18	-133
先進国株式	グローバル・複合地域	5,247	67	24	31	38	29	-14	-21	-26	96	-1	-16	78	61	111	286
	米国・北米	1,762	-4	1	-11	-16	-14	-31	-31	-33	-37	-30	6	-21	-45	-146	-220
	欧州	213	-6	-8	-14	-11	-11	-12	-11	-8	-10	-6	-8	-9	-22	-51	-114
	アジア・オセアニア	678	4	6	9	12	22	49	37	46	50	41	41	64	145	278	381
エマージング株式	グローバル・複合地域	468	-11	-14	-11	-8	-8	-10	-8	-7	-7	-5	-6	-10	-21	-43	-105
	BRICS	905	-6	-6	-7	-8	-8	1	5	14	8	10	10	9	28	55	21
	その他	1,135	-8	-6	-5	-12	-12	-7	-30	-23	-17	-14	16	-7	-5	-74	-123
先進国債券	グローバル・複合地域	6,327	-34	-51	-32	-29	14	-23	-18	-13	-18	-46	-99	-75	-220	-269	-423
	米国・北米	1,119	-23	-26	-14	-12	-4	-7	6	6	0	3	-3	-11	-11	1	-85
	欧州	71	-1	-2	-1	-3	-1	-2	-2	-1	-1	-2	-1	-1	-5	-9	-19
	アジア・オセアニア	1,988	-18	-22	-14	-11	-6	-17	-15	-11	-13	-14	-21	-10	-44	-84	-170
エマージング債券	グローバル・複合地域	1,247	-30	-26	-28	-23	-34	-33	-30	-25	-21	-12	-2	-5	-19	-94	-267
	BRICS	835	-2	-2	-3	-3	-1	-6	-6	-4	2	7	16	25	48	40	24
	その他	256	-2	-2	2	4	2	3	1	5	5	8	2	-9	-0	11	18
ハイイールド債券	グローバル・複合地域	689	-10	-7	-4	-1	2	-7	-1	-4	-3	1	-1	-25	-26	-34	-61
	米国・北米	2,326	-37	-23	-22	1	5	7	19	38	48	41	36	5	82	187	117
	欧州	621	-13	-24	-21	-17	-13	-20	-22	-24	-27	-22	-19	-24	-65	-138	-246
	アジア・オセアニア	173	-3	-5	-3	-11	-7	-12	-6	-4	-2	-4	-5	-11	-19	-32	-74
REIT	日本	3,318	22	-30	-18	5	32	30	56	34	18	-3	4	92	93	201	243
	グローバル・複合地域	2,999	55	44	67	47	44	30	6	40	37	-1	-30	-51	-82	1	289
	米国・北米	5,376	152	144	200	176	201	197	161	259	214	122	11	-108	25	659	1,730
	欧州	63	-1	-2	-2	-2	-3	-5	-4	-3	-3	-2	-2	-3	-7	-17	-32
	アジア・オセアニア	430	-0	-3	4	3	14	-7	-19	-1	21	8	3	-9	2	2	13
複合資産	バランスファンド	5,236	39	39	43	28	22	10	12	26	22	9	17	-19	7	67	248
合計(その他含む)		53,296	522	122	161	97	294	134	-31	212	301	-60	-364	-657	-1,081	-599	731

※ETF、SMA専用、DC専用ファンドを除いた公募投信

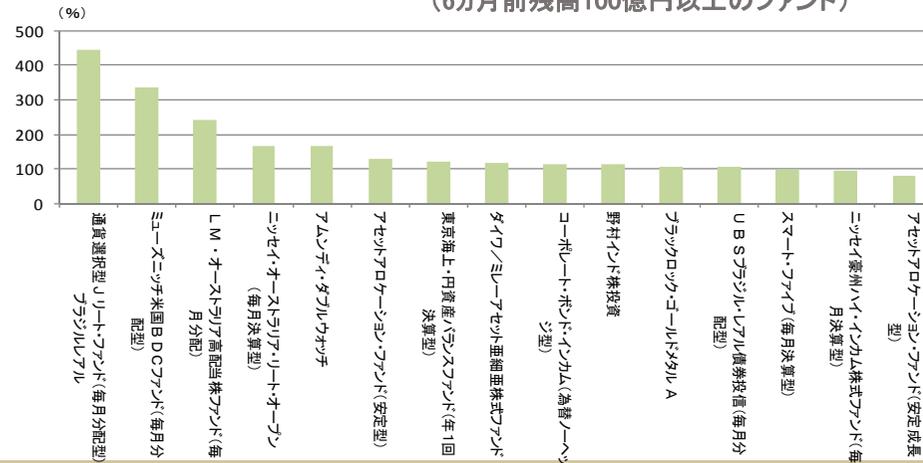
国内株式ファンドからの流出が目立つ

- 米国REIT、グローバルREITの資金流入が鈍化傾向にある一方で、「グローバルAIファンド」を始めとする外国株式ファンドの存在感が増している。
- 資金流出では、国内株式ファンドが目立つ。国内株式ファンド全体でも、直近6か月で20%も上昇していることもあり、上昇局面を捉えた売りが多く出た。

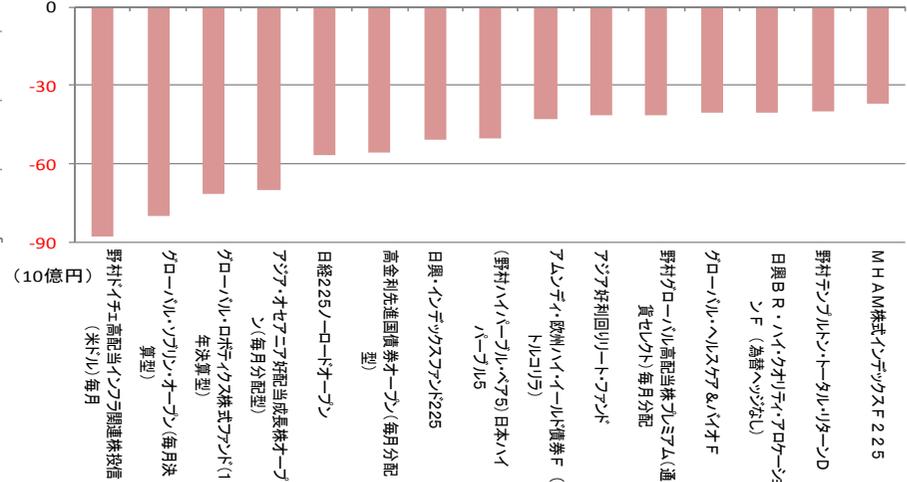
＜資金流出入額 上位15ファンド＞（資金流出入6か月累計）
（10億円）



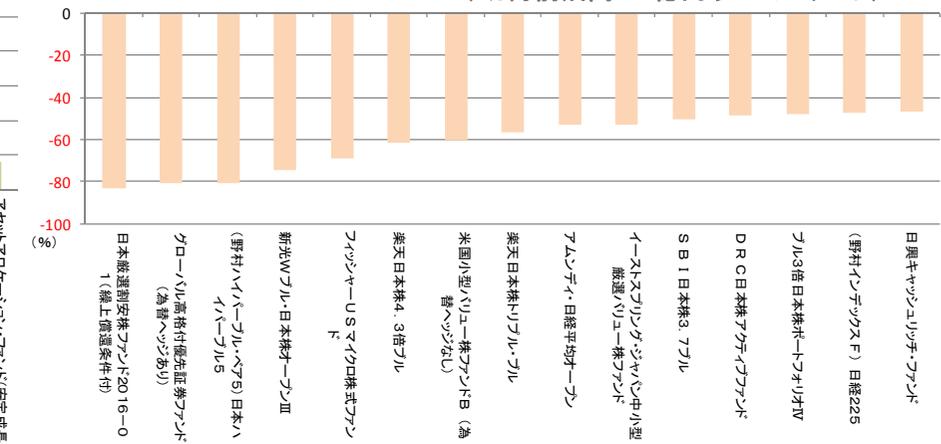
＜資金流入率 上位15ファンド＞（資金流出入6か月累計/純資産残高）
（6か月前残高100億円以上のファンド）



＜資金流出入額 下位15ファンド＞（資金流出入6か月累計）



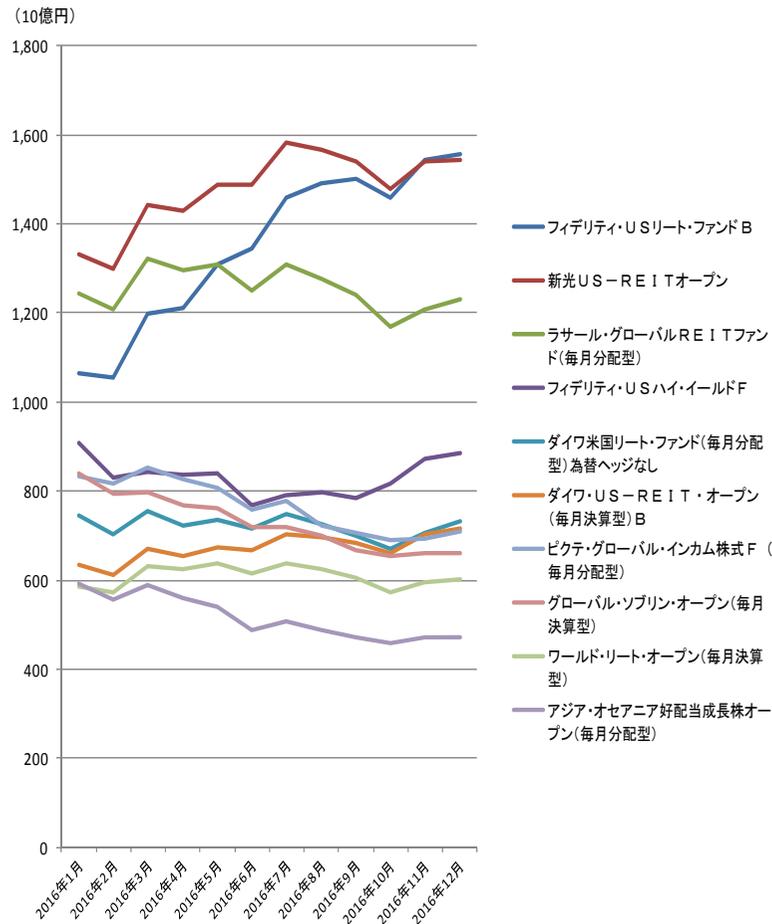
＜資金流出率 上位15ファンド＞（資金流出入6か月累計/純資産残高）
（6か月前残高100億円以上のファンド）



💡 原油、ロシア関連ファンドの上昇が際立つ

- 純資産残高上位10ファンドは相場要因から残高増で推移しているものの、大多数のファンドは流出超となっている。
- 1ヵ月リターンでは、OPEC減産合意による原油価格の上昇から、原油関連ファンドが上昇。また、ロシア関連ファンドは原油価格の上昇に加え、トランプ米新大統領がロシア協調路線をめざしていること等が意識され、大きく上昇した。

<純資産残高 上位10ファンド>



<リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
楽天日本株4.3倍ブル	楽天	その他	18.0	114.4	-38.7	142	-8	-63
SBI日本株3.7ブル	SBI	その他	15.6	99.0	-27.6	147	-23	-54
ブル3倍日本株ポートフォリオIV	大和	その他	12.6	78.2	-16.2	735	-94	-288
楽天日本株トリプル・ブル	楽天	その他	12.6	77.9	-16.0	198	-48	-102
(野村ハイパーブル・ベア5)日本ハイパーブル5	野村	その他	10.4	63.7	-9.4	413	-108	-500
(日本トレンドS)ハイパー・ウェーブ	日興	その他	8.4	50.1	-3.1	144	-26	-50
新光Wブル・日本株オープンⅢ	AM-One	その他	8.2	49.6	-3.6	180	-79	-205
HSBCロシアオープン	HSBC	エマーシング株式	17.7	48.7	52.7	86	-3	-9
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	国内株式	11.7	47.0	35.2	130	-3	-19
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	大和住銀	国内株式	13.3	45.7	22.4	958	-82	-5
ダイワ金融新時代ファンド	大和	国内株式	4.8	45.0	-4.5	173	5	-2
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)年2回決算型	野村	国内株式	10.6	44.7	24.7	139	-17	-32
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	国内株式	10.5	44.1	24.3	1,272	-42	-88
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	野村	国内株式	7.1	43.6	10.1	63	-3	-12
3つの財布欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	外国株式(先進国)	10.4	42.1	-7.7	130	-0	10

<リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

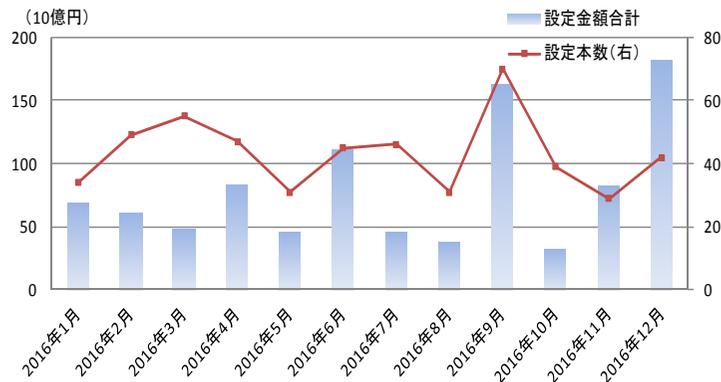
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
UBS原油(WTI先物指数連動型)	UBS	その他	18.7	14.4	12.4	65	-7	-11
楽天日本株4.3倍ブル	楽天	その他	18.0	114.4	-38.7	142	-8	-63
HSBCロシアオープン	HSBC	エマーシング株式	17.7	48.7	52.7	86	-3	-9
WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)	アストマックス	その他	16.5	-1.8	5.1	147	-6	-10
ドイチェ・ロシア東欧株式ファンド	ドイチェ	エマーシング株式	15.8	37.3	28.8	114	19	33
SBI日本株3.7ブル	SBI	その他	15.6	99.0	-27.6	147	-23	-54
DWSロシア・欧州新興国株投信	ドイチェ	エマーシング株式	15.4	36.5	28.3	76	2	0
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	外国株式(先進国)	15.1	31.5	60.8	794	27	95
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	外国株式(先進国)	15.1	31.5	60.7	356	-6	-55
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	大和住銀	国内株式	13.3	45.7	22.4	958	-82	-5
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型F(ブラジルレアル)	三井住友トラスト	外国株式(先進国)	12.9	23.6	36.3	138	6	-4
DWSロシア・ルーブル債券投信(年2回決算型)	ドイチェ	エマーシング債券	12.9	24.1	32.3	121	47	47
DWSロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)	ドイチェ	エマーシング債券	12.8	23.8	31.7	174	84	88
楽天USリート・トリプルエンジン(レアル)毎月分配型	楽天	REIT	12.7	26.9	20.8	636	-29	-76
ブル3倍日本株ポートフォリオIV	大和	その他	12.6	78.2	-16.2	735	-94	-288

💡 先進国株式ファンドが上位独占

- 先進国株式ファンドの1年間の新規設定累積金額が先進国債券ファンドを上回る等、その勢いが顕著なものとなっている。また、直近6か月で見ても、先進国株式ファンドが上位を独占した。
- 12月の新規設定ファンドである「世界中小型株式ファンド」は新興国を含む世界の中小型株式に投資するファンド。新興国の割合が40%と高く、株価の変動が小さい銘柄に投資し高いリターンを獲得をめざす低ボラティリティ戦略を採っている。

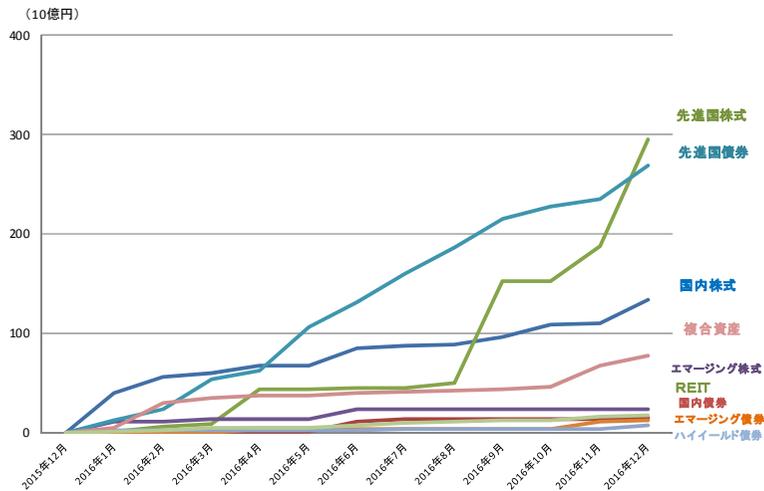
＜新規設定金額、設定本数の推移＞



＜直近6か月 新規設定上位30ファンド一覧＞

ファンド名	運用会社	12月末現在純資産額 (億円)	ファンド分類	設定年月	単位型/追加型
グローバルAIファンド	三井住友	2,280	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
世界中小型株式ファンド	AM-One	630	外国株式(先進国)	2016年12月	追加型
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり)	大和	521	外国株式(先進国)	2016年7月	追加型
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジなし)	大和	391	外国株式(先進国)	2016年7月	追加型
グローバル・ハイクオリティ成長株式F(為替ヘッジなし)	AM-One	362	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
米国バリュー・ストラテジー・ファンド A	野村	298	外国株式(先進国)	2016年11月	追加型
フィデリティ世界医療機器関連株F(為替ヘッジなし)	フィデリティ	265	外国株式(先進国)	2016年12月	追加型
米国バリュー・ストラテジー・ファンド B	野村	257	外国株式(先進国)	2016年11月	追加型
世界好利回りCB2016-09為替ヘッジあり・限定追加型	三菱UFJ国際	213	その他	2016年9月	追加型
先進国債券・茨城栃木関連株式バランスファンド	野村	205	複合資産	2016年11月	単位型
BNYメロン・日本株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	195	国内株式	2016年10月	追加型
フィデリティ世界医療機器関連株F(為替ヘッジあり)	フィデリティ	157	外国株式(先進国)	2016年12月	追加型
グローバルCBファンド(繰上償還条項付/下値目安設定型)	JPモルガン	128	その他	2016年10月	追加型
ブラックロック・BEST(為替ヘッジあり/年2回決算型)	ブラックロック	128	外国債券(先進国)	2016年12月	追加型
ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	ニッセイ	120	外国株式(先進国)	2016年11月	追加型
先進国普通社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-08	野村	111	外国債券(先進国)	2016年8月	単位型
りそな・ストラテジック・インカムF16-09ヘッジあり	三井住友	111	外国債券(先進国)	2016年9月	単位型
グローバル・ハイクオリティ成長株式F(限定為替ヘッジ)	AM-One	108	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	ニッセイ	105	外国株式(先進国)	2016年11月	追加型
日本厳選中小型株ファンド	AM-One	100	国内株式	2016年12月	追加型
コーポレート・ハイブリッド証券F2016-08(為替ヘッジあり/限定追加型)	大和	100	外国債券(先進国)	2016年8月	追加型
りそな・ストラテジック・インカムF16-12ヘッジあり	三井住友	97	外国債券(先進国)	2016年12月	単位型
新興国通貨建て世界銀行債券オープン	三菱UFJ国際	94	エマージング債券	2016年11月	追加型
Yjamプラス!	アストマックス	94	国内株式	2016年12月	追加型
ロボット戦略世界分散ファンド	T&Dアセット	87	その他	2016年9月	追加型
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-08	大和	71	外国債券(先進国)	2016年8月	単位型
日本配当追求株ファンド(価格変動抑制型)	三菱UFJ国際	70	その他	2016年10月	追加型
BNYメロン・G好利回りCB2016-07(円ヘッジ)(限定追加型)	BNYメロン	66	その他	2016年7月	追加型
みずほハイブリッド証券F2016-10(ヘッジあり)	大和	64	外国債券(先進国)	2016年10月	追加型
スマート・プロテクター90(限定追加型)2016-12	三菱UFJ国際	64	複合資産	2016年12月	追加型

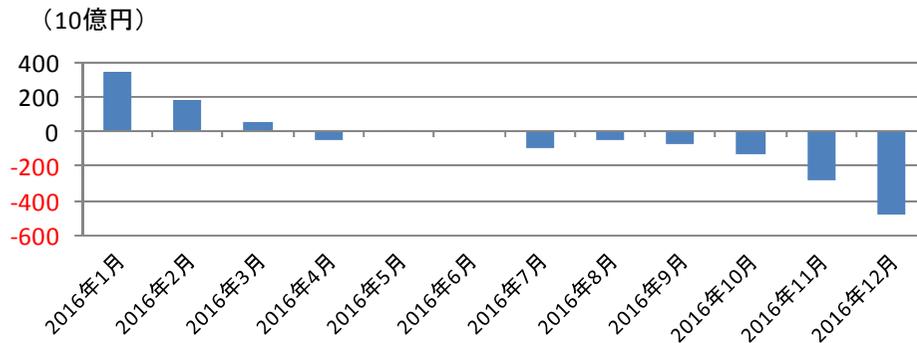
＜新規設定(1年間の累積金額)＞



💡 株価上昇局面を捉えた売りが強まる

- ・ 欧米株式および原油価格の上昇を受け国内株式市場が堅調に推移したことで戻り売りの動きが広がり、2014年11月に日銀の追加緩和発表により株価が急騰して以来となる、大幅な資金流出超となった。
- ・ 1か月リターンは、ブラジルリアル・ヘッジの通貨選択型ファンドが上位となった。ブラジルリアルはトランプショックで一時下落していたが、OPEC原油減産合意に端を発する資源価格の上昇等により持ち直しの動きとなっている。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日本厳選中小型株ファンド	AM-One	101	101	101	100	-	-
Yjamプラス!	アストマックス	96	96	96	94	-	-
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	74	257	344	372	2.4	10.9
中小型株式オープン	三井住友トラスト	39	77	99	226	1.7	-3.5
国際・キャピタル日本株式オープン<ロシアルール>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	39	59	60	72	12.7	46.4
日本好配当株ファンド16-12(限定追加型/繰上償還条項付)	いちよし	36	36	36	36	-	-
BNYメロン・日本株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	28	185	185	195	5.1	-
JPX日経400プラスにいがた・アクティブ	岡三	15	44	40	81	2.4	5.7
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	11	15	21	121	5.3	32.2
インベスコジャパン成長株・夢ファンド	インベスコ	9	99	160	161	1.6	-3.5
ハイブリッド・セレクション	AM-One	9	-2	-2	79	4.4	19.0
日本連続増配成長株ファンド16-12(繰上償還・償還延長条項付)	岡三	9	9	9	9	-	-
スパークス・M&S・ジャパン・ファンド	スパークス	7	6	6	11	4.1	24.0
ノムラ・ジャパン・バリュア・オープン	野村	6	5	4	49	3.4	21.5
ダイワ・インテックスセレクト日経225	大和	5	18	53	163	4.5	23.6

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	大和	11.7	47.0	35.2	130	-3	-19
日本厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀	13.3	45.7	22.4	958	-82	-5
ダイワ金融新時代ファンド	大和	4.8	45.0	-4.5	173	5	-2
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)年2回決算型	野村	10.6	44.7	24.7	139	-17	-32
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村	10.5	44.1	24.3	1,272	-42	-88
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	野村	7.1	43.6	10.1	63	-3	-12
ダイワ日本株ストラテジーα<米ドル>(毎月分配型)	大和	6.1	40.5	2.6	92	-7	-21
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクト)年2回決算型	野村	8.6	39.9	-0.7	229	-22	-67
野村通貨選択日本株投資(米ドル)毎月分配型	野村	8.3	39.8	-2.9	232	-25	-81
野村通貨選択日本株投資(米ドル)年2回決算型	野村	8.3	39.7	-2.8	519	-63	-199
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配型	野村	8.6	39.6	-0.8	1,711	-88	-210
割安株ジャパン・オープン	三菱UFJ国際	5.2	39.6	2.2	80	1	-1
日本厳選ファンド・米ドルコース	大和住銀	6.5	39.1	-5.2	548	-33	-26
T&D日本株式投資(通貨選択型)米ドルコース	T&Dアセット	8.3	39.0	-3.3	58	-9	-21
日本株225(米ドル)	大和住銀	7.7	38.4	-2.6	171	-16	-29

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

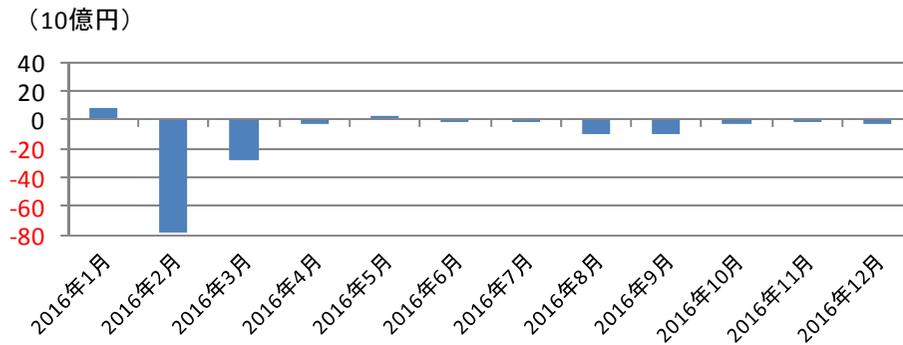
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日本厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀	13.3	45.7	22.4	958	-82	-5
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)ブラジルリアル	AM-One	12.3	32.4	19.0	101	-4	27
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	大和	11.7	47.0	35.2	130	-3	-19
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)年2回決算型	野村	10.6	44.7	24.7	139	-17	-32
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村	10.5	44.1	24.3	1,272	-42	-88
日本株ハイインカム(毎月分配)ブラジルリアル	アストマックス	8.7	33.8	26.1	284	-2	37
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクト)年2回決算型	野村	8.6	39.9	-0.7	229	-22	-67
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配型	野村	8.6	39.6	-0.8	1,711	-88	-210
ダイワ日本株ストラテジーα<通貨セレクト>(毎月分配型)	大和	8.4	36.0	3.9	131	-5	-23
野村通貨選択日本株投資(メキシコペソ)毎月分配型	野村	8.4	29.2	-17.4	67	-8	-23
野村通貨選択日本株投資(米ドル)毎月分配型	野村	8.3	39.8	-2.9	232	-25	-81
野村通貨選択日本株投資(米ドル)年2回決算型	野村	8.3	39.7	-2.8	519	-63	-199
T&D日本株式投資(通貨選択型)米ドルコース	T&Dアセット	8.3	39.0	-3.3	58	-9	-21
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	大和住銀	8.2	36.9	20.5	2,237	-42	-120
GS日本株・プラス(米ドルコース)	G S	7.7	37.9	-3.8	55	-2	-17

💡 資金流出傾向は少額ながらも継続

- 資金流出傾向は継続しているが、日銀の長短金利操作政策の導入等による安心感から、流出幅は少額にとどまっている。
- 一方リターンは、米金利の上昇の影響もあって足元では小幅マイナスのファンドが増加している。

<資金流入金額推移>



<資金流入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
国内債券通貨プラス(秀債くん)	三菱UFJ国際	36	51	61	70	-1.1	-2.5
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	17	-2	-26	210	0.1	-0.4
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	8	21	38	116	-0.5	-3.3
日本超長期国債ファンド	三井住友	5	26	29	47	-1.0	-5.0
しんきん公共債ファンド	しんきん	5	24	12	112	-0.2	-0.9
三井住友・日本債券インデックスF	三井住友	5	30	86	535	-0.6	-3.3
eMAXIS国内債券インデックス	三菱UFJ国際	4	9	18	235	-0.6	-3.4
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	4	-231	-756	3,698	-0.2	-2.0
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	4	19	26	120	-0.2	0.2
Sストリート日本債券インデックス	Sストリート	3	14	14	13	-0.6	-3.4
ノーロード明治安田社債アクティブ	明治安田	3	3	3	3	-	-
ダイワ住宅金融支援機構債ファンド-Mr.フラット	大和	3	43	65	65	0.0	-1.7
DLIBJ・公社債オープン(中期コース)	AM-One	2	-5	2	519	-0.5	-3.3
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	2	6	8	114	-0.2	-2.0
債券コア・セレクション	三井住友トラスト	2	2	2	2	-	-

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
スター劣後債ファンド12-09(5年早期償還条項付)	SBI	0.2	1.6	3.3	76	0	0
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	-0.2	0.2	0.7	120	4	19
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	0.1	-0.4	0.3	210	17	-2
ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイ	0.1	-0.5	0.8	869	-4	-57
ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	0.1	-0.5	0.8	128	-3	-21
MHAM物価連動国債ファンド	AM-One	0.6	-0.5	-1.1	431	-4	-48
大和・日本物価連動国債ファンド	大和	0.6	-0.6	-1.0	153	-1	-25
しんきん公共債ファンド	しんきん	-0.2	-0.9	0.9	112	5	24
ニッセイ国内債券アルファ	ニッセイ	-0.1	-0.9	-0.2	185	-107	-84
ジャパン・ソブリン・オープン	三菱UFJ国際	-0.0	-1.3	0.5	364	-7	-72
パインブリッジ日本住宅金融支援機構債ファンド	パインブリッジ	-0.2	-1.6	1.3	150	0	2
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	-0.2	-2.0	1.5	3,698	4	-231
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	-0.2	-2.0	1.5	114	2	6
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	東京海上	-0.4	-2.9	2.3	544	-5	-60
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	-0.4	-2.9	2.3	71	0	9

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

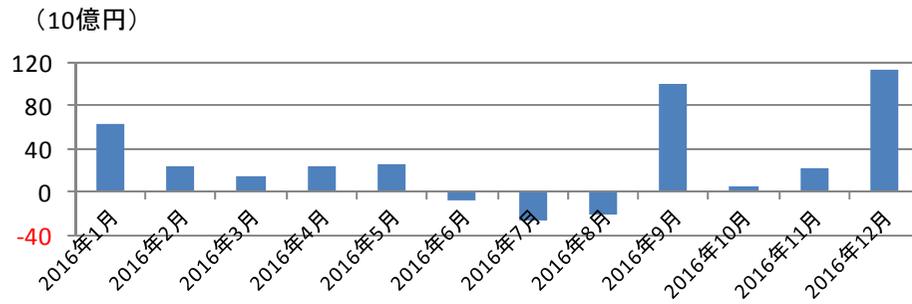
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
MHAM物価連動国債ファンド	AM-One	0.6	-0.5	-1.1	431	-4	-48
大和・日本物価連動国債ファンド	大和	0.6	-0.6	-1.0	153	-1	-25
スター劣後債ファンド12-09(5年早期償還条項付)	SBI	0.2	1.6	3.3	76	0	0
ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイ	0.1	-0.5	0.8	869	-4	-57
ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	0.1	-0.5	0.8	128	-3	-21
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	0.1	-0.4	0.3	210	17	-2
ジャパン・ソブリン・オープン	三菱UFJ国際	-0.0	-1.3	0.5	364	-7	-72
ニッセイ国内債券アルファ	ニッセイ	-0.1	-0.9	-0.2	185	-107	-84
パインブリッジ日本住宅金融支援機構債ファンド	パインブリッジ	-0.2	-1.6	1.3	150	0	2
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	-0.2	-2.0	1.5	3,698	4	-231
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	-0.2	-2.0	1.5	114	2	6
しんきん公共債ファンド	しんきん	-0.2	-0.9	0.9	112	5	24
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	-0.2	0.2	0.7	120	4	19
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	東京海上	-0.4	-2.9	2.3	544	-5	-60
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	-0.4	-2.9	2.3	71	0	9

💡 新規設定ファンドを中心に資金流入超

- トランプ次期米大統領による景気拡大期待から新規設定ファンドを中心に資金を集め、3カ月ぶりに1,000億円超の資金流入となった。
- OPEC(石油輸出国機構)加盟国と非加盟国が減産合意し原油価格が上昇したことで、1カ月リターン上位にはMLPを始めとする資源関連ファンドが目立った。

<資金流入金額推移>



<リターン(6カ月)上位15ファンド一覧>

※6カ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
3つの財布欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	10.4	42.1	-7.7	130	-0	10
フィッシャーUSマイクロ株式ファンド	AM-One	7.9	40.3	17.4	147	-55	-170
資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド	日興	11.9	40.1	43.3	77	-2	-7
3つの財布米国銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	6.5	40.0	11.3	87	1	4
ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	朝日ライフ	6.3	38.0	7.4	93	-0	-0
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド(米ドル)	大和	5.6	38.6	10.4	67	-3	-15
米国小型バリュー株ファンドB(為替ヘッジなし)	AM-One	6.4	34.2	18.0	282	-73	-284
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド	大和	7.2	33.4	-0.7	114	-5	-17
朝日Nvestグローバルバリュー株	朝日ライフ	7.4	33.2	-0.1	465	-17	-19
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	15.1	31.5	60.7	356	-6	-55
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	15.1	31.5	60.8	794	27	95
MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト	10.0	30.9	35.9	217	6	-7
ダイワ米国株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	10.4	30.0	37.0	1,140	-33	-225
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド	大和	7.9	29.9	16.2	144	-10	-37
野村クラウド&スマートグリッド関連株投信B	野村	2.7	28.8	-0.3	60	-3	-10

<資金流出(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6カ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出(億円)			純資産残高(億円)	リターン(%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
世界中小型株式ファンド	AM-One	630	630	630	630	-	-
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)	L M	476	2,067	2,771	3,089	6.0	21.2
グローバルAIファンド	三井住友	291	2,081	2,081	2,280	0.9	-
フィデリティ世界医療機器関連株F(為替ヘッジなし)	フィデリティ	267	267	267	265	-	-
フィデリティ世界医療機器関連株F(為替ヘッジあり)	フィデリティ	157	157	157	157	-	-
ダイワFEグローバルバリュー(為替ヘッジあり)	大和	105	521	521	521	0.7	-
ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	ニッセイ	100	303	556	758	5.2	25.6
グローバル・ハイクオリティ成長株F(為替ヘッジなし)	AM-One	98	345	345	362	2.2	-
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	88	196	247	422	5.8	20.3
野村世界業種別投資(世界金融株投資)	野村	78	91	87	120	6.5	37.2
ニッセイAI関連株ファンド(為替ヘッジなし)	ニッセイ	71	119	119	120	1.6	-
キャピタル世界株式ファンド	キャピタル	58	178	218	282	4.6	19.2
ニッセイAI関連株ファンド(為替ヘッジあり)	ニッセイ	57	105	105	105	-0.6	-
USテクノロジー・イノベーションズF(為替ヘッジあり)	三井住友	51	57	57	57	-0.6	-
ブラックロック・USベシックバリュー	ブラックロック	49	52	58	184	7.0	28.3

<リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

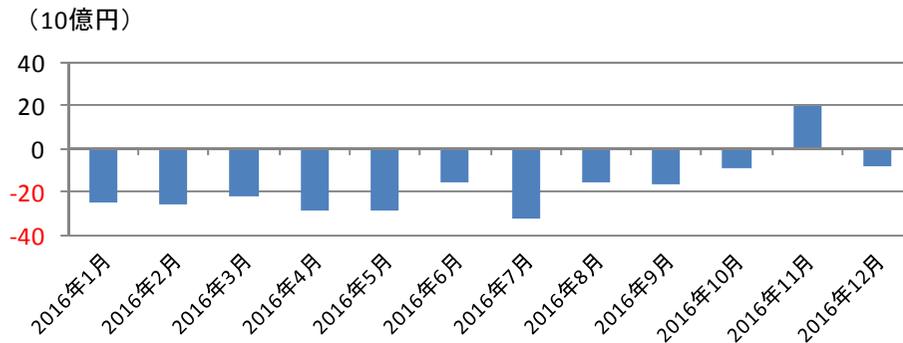
※6カ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流出(億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	15.1	31.5	60.8	794	27	95
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	15.1	31.5	60.7	356	-6	-55
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型F(ブラジルレアル)	三井住友トラスト	12.9	23.6	36.3	138	6	-4
インデックスファンドMLP(1年決算型)	日興	12.1	18.2	15.7	68	-0	-19
インデックスファンドMLP(毎月分配型)	日興	11.9	18.0	15.5	427	-13	-64
資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド	日興	11.9	40.1	43.3	77	-2	-7
米国エネルギー革命関連ファンドB(為替ヘッジなし)	野村	11.6	17.0	15.3	447	-2	-25
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	三菱UFJ国際	11.5	28.2	39.7	554	19	8
米国MLPファンド(毎月分配型)B(円ヘッジなし)	ドイツ	11.5	11.8	4.2	108	3	2
米国エネルギー・ハイインカム・ファンド(エネハイ)	リクナー	11.3	19.1	6.4	62	-4	1
シュローダー・ユーロ株式ファンド 米ドル投資型	シュローダー	11.0	27.0	-1.5	66	-6	-26
ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配)(ブラジルレアル)	大和	11.0	27.7	31.7	71	-5	-25
野村ドイチェ 高配当インフラ関連株投信(BRレアル)毎月	野村	11.0	17.0	35.0	503	13	4
ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドル	大和	10.5	19.2	17.3	87	-5	-19
3つの財布欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	10.4	42.1	-7.7	130	-0	10

💡 米国次期大統領の政策発言に左右される

- ・ トランプ米次期大統領の保護主義政策への懸念を反映し、中国や東南アジアファンドを中心に流出超となった。
- ・ リターン上位は直近6か月、直近1か月ともロシア関連(BRICs含む)へ投資するファンドが独占。トランプ氏の親露発言に伴う経済制裁解除期待やOPECとの原油協調減産合意等が好材料視された。一方、直近6か月でみたリターン下位は、トルコ、フィリピン等の政治指導者の強権懸念国、直近1か月では、中国が、トランプ氏の敵視発言により下落した。

<資金流入金額推移>



<資金流出(1か月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
野村インド株投資	野村	145	1,000	1,082	1,957	3.4	10.1
中華圏株式ファンド(毎月分配型)	日興	120	231	282	297	-2.2	13.9
ダイワ/ミレーアセット連細亜株式ファンド	大和	33	312	587	602	-0.3	7.4
(ノムラ・アジアS)ノムラ・印度・フォーカス	野村	23	71	66	176	3.4	15.3
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	22	3	4	140	8.6	17.7
ドイツ・ロシア東欧株式ファンド	ドイツ	19	33	38	114	15.8	37.3
ダイワ・ロシア株ファンド	大和	7	6	6	62	16.4	41.2
DWSロシア・欧州新興国株投資	ドイツ	2	0	-4	76	15.4	36.5
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)(ツインα)	T&Dアセット	2	10	17	16	2.7	11.5
イーストスプリング・インド消費関連ファンド	イーストスプリ	2	39	42	90	3.1	13.5
(ノムラ・アジアS)ノムラ・インドネシア・フォーカス	野村	2	24	30	56	7.3	11.0
T&Dインド中小型株ファンド	T&Dアセット	2	-22	-17	89	1.0	13.6
フィデリティ・新興国厳選株ファンドA(米ドル売り円買い)	フィデリティ	2	9	10	10	-0.9	-2.8
ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和	2	25	24	174	3.5	11.7
先進国資本エマージング株式ファンド(1年決算型)	日興	2	2	4	4	4.4	5.1

<リターン(6か月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
HSBCロシアオープン	HSBC	17.7	48.7	52.7	86	-3	-9
ドイツ・ロシア東欧株式ファンド	ドイツ	15.8	37.3	28.8	114	19	33
DWSロシア・欧州新興国株投資	ドイツ	15.4	36.5	28.3	76	2	0
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	7.5	31.3	53.2	114	-3	-10
HSBC新BRICsファンド	HSBC	6.3	30.2	25.4	69	-2	-4
HSBC BRICsオープン	HSBC	6.2	30.1	25.4	97	-3	-8
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	6.2	24.9	46.0	99	-2	-10
JPM・BRICS5・ファンド	JPモルガン	7.6	24.4	19.6	287	-7	-8
HSBCブラジルオープン	HSBC	7.1	22.2	46.4	375	-7	-32
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式(毎月分配型)	イーストスプリ	3.0	21.8	3.6	66	-2	-6
シュローダーBRICs株式ファンド	シュローダー	3.1	21.2	5.2	129	-1	-3
アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	岡三	2.8	20.7	3.7	4,709	-89	-701
チャイナ騰飛(チャイナ・エクイティ・オープン)	大和住銀	-1.8	20.2	-6.4	72	-1	-4
ノムラファンドマスターズ新興国株B	野村	3.9	20.2	6.4	75	-2	-6
日興BRICs株式ファンド	日興	5.6	19.9	8.4	107	-3	-10

<リターン(1か月) 上位15ファンド一覧>

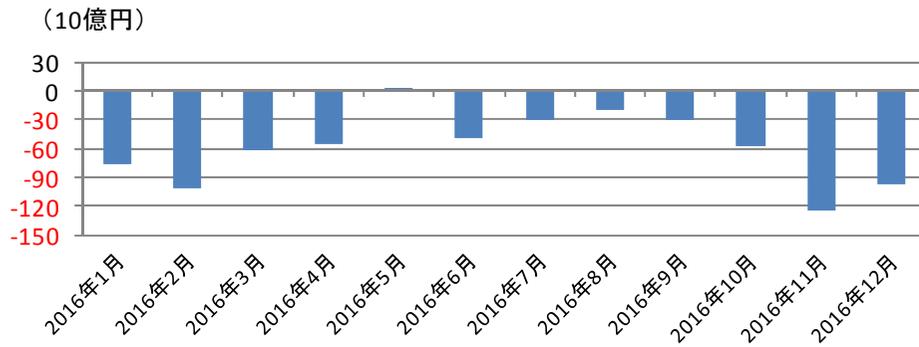
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
HSBCロシアオープン	HSBC	17.7	48.7	52.7	86	-3	-9
ドイツ・ロシア東欧株式ファンド	ドイツ	15.8	37.3	28.8	114	19	33
DWSロシア・欧州新興国株投資	ドイツ	15.4	36.5	28.3	76	2	0
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	8.6	17.7	36.2	140	22	3
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	イーストスプリ	8.3	12.0	9.4	158	-5	-2
JPM・BRICS5・ファンド	JPモルガン	7.6	24.4	19.6	287	-7	-8
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	7.5	31.3	53.2	114	-3	-10
HSBCブラジルオープン	HSBC	7.1	22.2	46.4	375	-7	-32
HSBC新BRICsファンド	HSBC	6.3	30.2	25.4	69	-2	-4
ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド	大和	6.2	19.8	22.0	86	-5	-21
HSBC BRICsオープン	HSBC	6.2	30.1	25.4	97	-3	-8
シュローダー・ラテンアメリカ株投資	シュローダー	6.2	16.5	15.1	71	-2	-7
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	6.2	24.9	46.0	99	-2	-10
DIAM VIPフォーカス・ファンド	AM-One	6.1	9.5	-0.9	72	-0	2
日興BRICs株式ファンド	日興	5.6	19.9	8.4	107	-3	-10

💡 大幅な資金流出超の流れ継続

- 流出幅は前月より縮小したものの1,000億円近くの流出超となった。日米金利差の拡大から円安基調が継続し、ヘッジなしファンドのリターンが改善したことで投資家の売りを誘った。
- 資金流入ファンドの多くは、円ヘッジ付きのファンドとなる等、資金流入状況は、更なる円安の進行よりも円高局面を睨んだ動きに転じている。

＜資金流入金額推移＞



＜リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧＞

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村テンプレート・トータル・リターンB	野村	10.0	25.8	3.2	572	-28	-95
野村テンプレート・トータル・リターンD	野村	10.0	25.6	3.3	3,306	-102	-398
三菱UFJ米国バンクローンF<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	10.0	22.5	34.2	79	6	9
テンプレート世界債券ファンド(為替ヘッジなし)	フランクリン	8.8	21.5	0.5	70	-3	-8
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	東京海上	10.0	20.8	31.1	91	-3	-8
新光ハイブリッド証券ファンド(ブラジルレアル)	AM-One	9.6	19.5	30.3	144	-2	-14
野村グローバル債券投信B	野村	4.7	18.9	4.6	81	-8	-21
野村グローバル債券投信D	野村	4.7	18.9	4.6	86	-9	-26
野村グローバル債券投信F	野村	6.2	18.7	8.7	113	-1	-12
UBS世界公共インフラ債券投信 ブラジルレアル(毎月分配型)	UBS	9.3	18.4	32.1	215	-4	-12
バンクローン・ファンド(ヘッジなし)	AM-One	4.5	18.1	4.8	96	-3	-7
バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト	4.1	17.3	2.8	245	-10	-34
GS債券戦略ファンドD(年2回決算型、為替ヘッジなし)	G S	4.8	17.2	-1.7	50	-6	-16
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムF(為替ヘッジなし/3ヵ月決算型)	三井住友	3.9	17.2	3.7	86	-9	-47
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	4.1	17.1	2.5	431	-21	-61

＜資金流出入(1ヵ月)上位15ファンド一覧＞

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラックロック・BEST(為替ヘッジあり/年2回決算型)	ブラックロック	127	127	127	128	-	-
リソナ・ストラテジック・インカムF16-12ヘッジあり	三井住友	97	97	97	97	-	-
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドA	野村	71	244	292	294	0.5	2.4
三菱UFJ米国バンクローンF<ロシアループル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	50	61	64	102	12.6	27.5
東京海上・ニッポン世界債券F(為替ヘッジあり)	東京海上	43	576	758	1,541	-0.7	-3.9
GSフォーカス・イールド・ボンド(毎月決算)	G S	43	130	149	148	0.5	0.4
UBS世界公共インフラ債券投信 円(毎月分配型)	UBS	38	522	752	2,674	0.1	-2.7
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドC	野村	38	171	200	201	0.5	2.3
DWSグローバル公益債券ファンドA(毎月分配型)	ドイチエ	36	66	-38	1,102	0.8	-1.0
ダイワ日本企業外債F S(為替ヘッジあり)16-12	大和	35	35	35	35	-	-
UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型)	UBS	34	166	193	1,021	-0.2	6.8
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	32	39	41	60	0.6	2.5
ニッセイ・コーポレート・ハイブリッド証券2016-12(為替ヘッジあり)	ニッセイ	32	32	32	32	-	-
みずほ豪州債券ファンド	AM-One	31	66	93	1,154	-0.2	7.3
三菱UFJヘッジ付外国債券オープン	三菱UFJ国際	25	54	124	212	0.3	-3.3

＜リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧＞

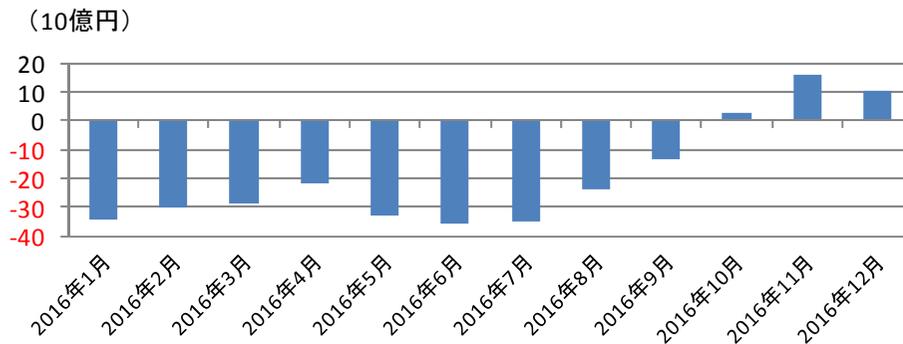
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
三菱UFJ米国バンクローンF<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	10.0	22.5	34.2	79	6	9
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	東京海上	10.0	20.8	31.1	91	-3	-8
野村テンプレート・トータル・リターンB	野村	10.0	25.8	3.2	572	-28	-95
野村テンプレート・トータル・リターンD	野村	10.0	25.6	3.3	3,306	-102	-398
新光ハイブリッド証券ファンド(ブラジルレアル)	AM-One	9.6	19.5	30.3	144	-2	-14
UBS世界公共インフラ債券投信 ブラジルレアル(毎月分配型)	UBS	9.3	18.4	32.1	215	-4	-12
テンプレート世界債券ファンド(為替ヘッジなし)	フランクリン	8.8	21.5	0.5	70	-3	-8
野村グローバル債券投信F	野村	6.2	18.7	8.7	113	-1	-12
ダイワ短期国際機関債F(毎月分配型)-成長の絆-	大和	5.9	10.3	-1.6	58	-2	-21
野村テンプレート・トータル・リターンA	野村	5.7	10.7	5.6	54	-2	-10
高金利通貨ファンド	AM-One	5.6	12.2	2.6	75	-2	-6
野村新世界高金利通貨投信(毎月分配型)	野村	5.4	15.0	4.0	183	-3	-10
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	野村	5.2	13.6	10.0	58	-1	-4
テンプレート世界債券ファンド(限定為替ヘッジ)	フランクリン	5.2	7.7	3.7	59	-2	-7
世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	日興	5.1	12.0	-0.8	267	-7	-24

💡 トランプ政策への思惑で中国を除くBRICsが巻き返し

- ブラジル関連ファンド(リアル・ヘッジ含む)やロシア債券ファンド、インド債券ファンドに対する資金流入が目立った。
- リターンは直近6か月、直近1か月ともロシア関連、ブラジル関連、南アフリカ関連のファンドが上位となった。要因は円安の進行であるが、為替市場はトランプ・ラリーに伴い短期的に変動しやすい局面となっている。一方、リターン下位は、円・ヘッジファンドやテロの多発が懸念されたトルコ関連ファンドとなった。

<資金流出入金額推移>



<リターン(6か月)上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流出入(億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨)毎月	野村	6.8	25.7	29.6	88	-3	-8
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	11.0	25.3	55.1	51	-1	-7
DWSロシアン・グローバル債券投信(年2回決算型)	ドイツ	12.9	24.1	32.3	121	47	47
DWSロシアン・グローバル債券投信(毎月分配型)	ドイツ	12.8	23.8	31.7	174	84	88
日興ビムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルレアル)	日興	11.0	21.7	41.5	102	-3	-16
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイツ	9.6	21.4	42.1	127	-3	-21
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(年2回決算型)	イーストスプリ	3.8	20.5	5.5	142	13	44
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(毎月決算型)	イーストスプリ	3.7	20.5	5.6	381	41	142
LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)	L M	10.1	20.0	34.8	581	-4	-43
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	10.2	19.9	45.4	393	2	-8
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	10.9	19.9	39.6	889	-7	-32
ダイワ・ブラジル・リアル債券オープン(毎月分配型)	大和	10.4	19.4	36.2	586	-6	-46
ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和	10.5	19.4	36.2	1,420	-37	-248
りそなブラジル・ソブリン・ファンド(毎月決算型)	大和	10.3	19.3	36.1	129	0	-2
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	10.0	19.2	41.3	114	7	6

<資金流出入(1か月)上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入(億円)			純資産残高(億円)	リターン(%)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
野村エマージング債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	T&Dアセット	171	205	201	543	10.1	18.5
DWSロシアン・グローバル債券投信(毎月分配型)	ドイツ	84	88	81	174	12.8	23.8
野村インド債券ファンド(毎月分配型)	野村	63	243	390	1,000	4.0	17.9
DWSロシアン・グローバル債券投信(年2回決算型)	ドイツ	47	47	44	121	12.9	24.1
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(毎月決算型)	イーストスプリ	41	142	115	381	3.7	20.5
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	39	215	251	462	9.3	18.1
アジア社債ファンドA(為替ヘッジあり)	日興	17	178	207	217	-0.2	-0.6
インド債券ファンド(毎月分配型)	三井住友	13	-28	-140	651	3.4	17.8
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(年2回決算型)	イーストスプリ	13	44	46	142	3.8	20.5
新光ブラジル債券ファンド	AM-One	12	6	-11	614	9.1	18.1
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	7	6	-0	114	10.0	19.2
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン B	三菱UFJ国際	5	85	82	243	1.3	-0.6
メキシコ債券オープン(毎月分配型)	大和住銀	5	65	54	329	2.6	-4.9
メキシコ・ボンド・オープン(毎月決算)	大和	4	7	8	24	3.1	-3.1
メキシコ債券オープン(資産成長型)	大和住銀	3	26	25	33	2.5	-4.9

<リターン(1か月)上位15ファンド一覧>

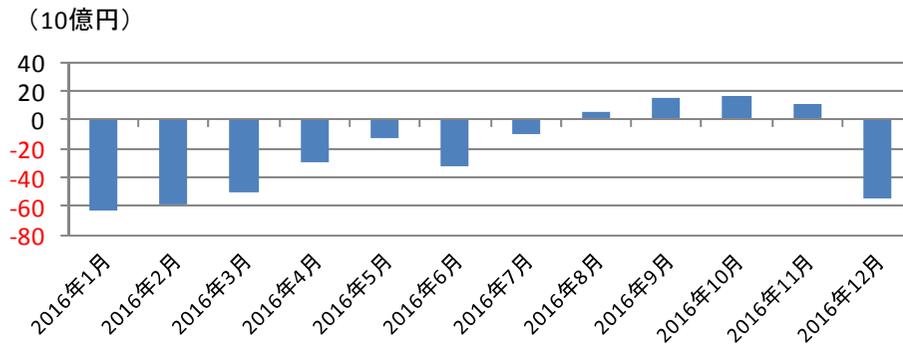
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流出入(億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
DWSロシアン・グローバル債券投信(年2回決算型)	ドイツ	12.9	24.1	32.3	121	47	47
DWSロシアン・グローバル債券投信(毎月分配型)	ドイツ	12.8	23.8	31.7	174	84	88
野村新興エマージング債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	11.3	17.6	38.4	176	-5	-16
日興ビムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルレアル)	日興	11.0	21.7	41.5	102	-3	-16
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	11.0	25.3	55.1	51	-1	-7
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	10.9	19.9	39.6	889	-7	-32
(通貨選択EBF)ブラジルレアルコース(毎月分配型)	大和住銀	10.8	18.7	36.9	661	1	-34
新興国公社債オープン ブラジルレアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	10.5	18.5	37.8	61	-0	-7
ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和	10.5	19.4	36.2	1,420	-37	-248
ダイワ・ブラジル・リアル債券オープン(毎月分配型)	大和	10.4	19.4	36.2	586	-6	-46
りそなブラジル・ソブリン・ファンド(毎月決算型)	大和	10.3	19.3	36.1	129	0	-2
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	10.2	19.9	45.4	393	2	-8
LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)	L M	10.1	20.0	34.8	581	-4	-43
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルレアル)	三井住友	10.1	18.7	38.6	576	0	-52
野村エマージング債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	T&Dアセット	10.1	18.5	40.2	543	171	205

💡 分配金削減への懸念から大幅な資金流出

- 12月は大幅な資金流出を記録した。米国を中心に長期金利が上昇したことや、分配金適正化（削減）への懸念が要因となっている。
- 直近1カ月のリターン上位は、ブラジルリアル・ヘッジ、南アフリカランド・ヘッジ、バスケット通貨・ヘッジ。直近1カ月のリターン下位は、円・ヘッジ、豪ドル・ヘッジ。

＜資金流出入金額推移＞



＜資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※右表とは異なり、抽出対象には6カ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ミュージニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)	日興	120	415	414	607	5.8	26.5
みずほUSハイイールドオープン B	AM-One	69	225	255	1,081	5.5	21.0
ミュージニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり/毎月分配型)	日興	64	144	145	173	2.1	11.5
野村米国ハイイールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	59	468	597	1,624	10.3	27.4
米国ハイイールド債券ファンドブラジルリアル	AM-One	32	112	117	353	11.2	27.2
みずほUSハイイールドオープン A	AM-One	31	35	2	359	1.8	6.7
欧州ハイイールド債券オープン(毎月決算型)ユーロ	岡三	29	31	11	171	3.8	12.8
野村米国ハイイールド債券投信(円)毎月分配型	野村	24	215	354	513	1.9	6.8
PIMCO米国ハイイールド債券通貨選択型F(円)	三井住友トラスト	13	13	-2	84	1.3	4.6
ピムコハイイールド・ファンド B	日興	11	18	17	27	1.4	4.7
BDCプラス(為替ヘッジなし/年4回決算型)	三井住友	11	11	11	11	-	-
BDCプラス(為替ヘッジあり/年4回決算型)	三井住友	10	10	10	10	-	-
野村米国高利回り社債投信 C	野村	10	18	19	24	2.0	7.4
高利回り社債オープン・為替ヘッジ(毎月分配型)	野村	10	31	23	273	2.4	8.5
BDCプラス(為替ヘッジなし/年1回決算型)	三井住友	8	8	8	8	-	-

＜リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※6カ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村米国ハイイールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	10.3	27.4	41.3	1,624	59	468
米国ハイイールド債券ファンドブラジルリアル	AM-One	11.2	27.2	44.3	353	32	112
野村新米国ハイイールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	10.4	26.8	37.3	333	-4	-17
DWS欧州ハイイールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	ドイチェ	11.4	26.8	38.1	760	-58	-165
ミュージニッチ米国BDCファンド(年2回決算型)	日興	5.7	26.5	14.8	121	-6	21
ミュージニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)	日興	5.8	26.5	14.8	607	120	415
ダイワ米国高金利社債Fブラジル・リアル(毎月分配型)	大和	11.3	26.2	42.9	235	1	-9
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	11.0	25.7	46.0	595	4	88
米国ハイイールド債券オープンブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	11.2	25.7	42.5	89	3	18
アムンディ・リソな米国ハイイールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	11.2	25.6	42.6	281	8	1
三井住友・米国ハイイールド債券・ブラジルリアルファンド	三井住友	10.7	24.8	39.6	160	-2	-18
PIMCO米国ハイイールド債券通貨選択型F(ブラジル・リアル)	三井住友トラスト	10.8	24.6	40.1	618	-20	-134
野村グローバルハイイールド債券投信(資源国通貨)毎月分配型	野村	6.3	24.6	23.2	993	-25	-122
野村PIMCO米国ハイイールド債券投信(BRリアル)毎月	野村	10.7	24.5	39.1	146	2	38
アムンディ・欧州ハイイールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	11.2	24.5	35.0	660	-26	-95

＜リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※6カ月前の純資産残高50億円以上から抽出

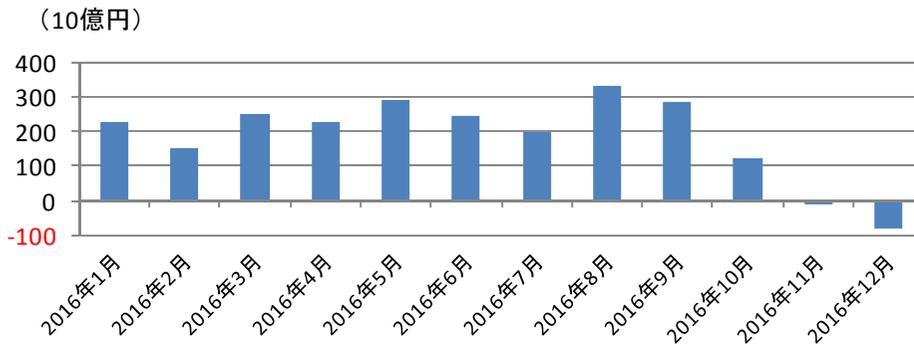
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
エマージング・ハイイールド・ボンド・ファンド(ブラジルリアル)	日興	11.5	23.9	41.7	277	-15	-69
DWS欧州ハイイールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	ドイチェ	11.4	26.8	38.1	760	-58	-165
ダイワ米国高金利社債Fブラジル・リアル(毎月分配型)	大和	11.3	26.2	42.9	235	1	-9
米国ハイイールド債券ファンドブラジルリアル	AM-One	11.2	27.2	44.3	353	32	112
アムンディ・欧州ハイイールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	11.2	24.5	35.0	660	-26	-95
米国ハイイールド債券オープンブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	11.2	25.7	42.5	89	3	18
アムンディ・リソな米国ハイイールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	11.2	25.6	42.6	281	8	1
新光グローバルハイイールド債券ファンド(ブラジル・リアル)	AM-One	11.0	24.1	42.1	207	-5	-41
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	11.0	25.7	46.0	595	4	88
PIMCO米国ハイイールド債券通貨選択型F(ブラジル・リアル)	三井住友トラスト	10.8	24.6	40.1	618	-20	-134
三井住友・米国ハイイールド債券・ブラジルリアルファンド	三井住友	10.7	24.8	39.6	160	-2	-18
野村PIMCO米国ハイイールド債券投信(BRリアル)毎月	野村	10.7	24.5	39.1	146	2	38
野村新米国ハイイールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	10.4	26.8	37.3	333	-4	-17
野村米国ハイイールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	10.3	27.4	41.3	1,624	59	468
ダイワ/フィデリティ・アジアハイイールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	大和	9.5	23.9	41.9	117	-3	-14



国内REITは流入継続も、海外REITは米国中心に資金流出超

- 国内REITは資金流入が継続。東証REIT指数の値は、米国長期金利上昇の影響で冴えない展開が見られたものの、米国の良好な経済指標、一段の円安進行、国内長期金利の上昇基調一服等から、前月末対比ではプラスとなった。
- 海外REITは、米国・欧州いずれも資金流出超となったものの、リターンはプラスとなった。
- 直近6か月、直近1か月のリターンは、円安が進行した影響を背景に、為替差益を享受した通貨選択型が上位となった。

<資金流入金額推移>



<資金流入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	大和	172	538	722	2,408	3.7	2.1
J-REIT・リサーチ・オープン (毎月決算型)	三井住友トラスト	152	-30	-503	3,779	4.7	5.1
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルレアル	AM-One	127	607	688	769	12.2	20.6
ニッセイJ-REITファンド (毎月決算型)	ニッセイ	117	149	-397	2,730	3.5	1.9
MHAM J-REITインデックスファンド (毎月決算型)	AM-One	72	198	139	1,893	3.6	2.2
しんきんJリートオープン (毎月決算型)	しんきん	71	351	533	2,558	3.4	1.6
りそなJリート・アクティブ・オープン	AM-One	67	87	-6	1,905	3.6	2.2
Jリートファンド	三井住友トラスト	64	138	40	943	3.9	3.0
国際アジア・リートF<インド・ルビー> (毎月決算型)	三菱UFJ国際	39	129	148	204	1.6	9.5
フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	フィデリティ	39	129	159	207	3.3	2.6
フィデリティ・USリート・ファンド A	フィデリティ	37	120	195	265	2.1	-5.6
通貨選択型米国リート・αクワトロ (毎月分配)	大和	36	128	146	205	6.8	8.6
三菱UFJ Jリートオープン (3ヵ月決算型)	三菱UFJ国際	29	-76	18	1,607	3.6	0.5
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 豪ドル	AM-One	25	138	181	191	3.3	12.8
インデックスファンドJリート	日興	22	40	-6	271	3.6	2.2

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
楽天USリート・トリプルエンジン (リアル) 毎月分配型	楽天	12.7	26.9	20.8	636	-29	-76
インフラ 関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (米ドル)	岡三	6.7	22.8	-3.7	365	-16	-33
東京海上J-REIT 投信 (ブラジルレアル) 年2回決算型	東京海上	11.9	22.1	35.3	49	-5	-20
東京海上J-REIT 投信 (ブラジルレアル) 毎月分配型	東京海上	11.8	21.8	34.9	629	-1	-87
三菱UFJ Jリート不動産株F<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	三菱UFJ国際	5.9	21.2	-5.5	66	-6	-16
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルレアル	AM-One	12.2	20.6	34.2	769	127	607
インフラ 関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (豪ドル)	岡三	3.5	19.9	-3.7	84	-3	-7
ドイチェ・グローバルREIT 投信 (ブラジルレアル) (毎月分配型)	ドイチェ	12.2	16.6	29.2	245	10	-13
東京海上J-REIT 投信 (米ドル) 毎月分配型	東京海上	7.3	16.0	4.7	327	-25	-65
東京海上J-REIT 投信 (米ドル) 年2回決算型	東京海上	7.3	16.0	4.7	236	-21	-53
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) 米ドル	AM-One	6.5	15.5	3.6	248	14	138
野村北米REIT 投信 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型	野村	10.8	14.8	31.5	93	0	1
東京海上J-REIT 投信 (豪ドル) 年2回決算型	東京海上	3.6	13.5	5.1	52	-2	-7
東京海上J-REIT 投信 (豪ドル) 毎月分配型	東京海上	3.6	13.5	5.1	738	-19	-101
三菱UFJ Jリート不動産株F<Wプレミアム> (毎月決算型)	三菱UFJ国際	4.1	13.0	-4.6	199	-18	-83

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

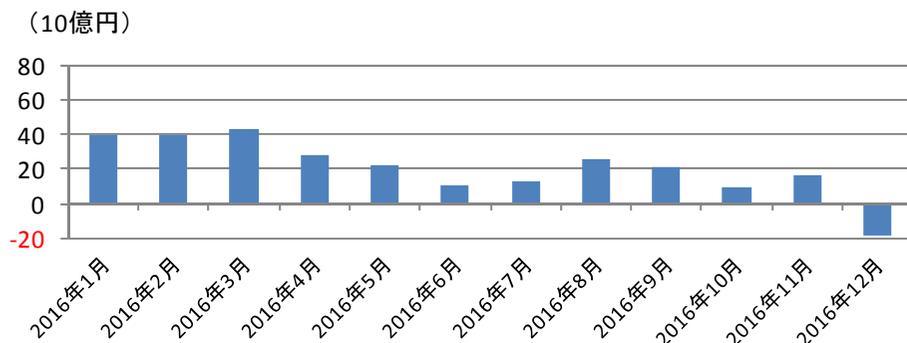
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
楽天USリート・トリプルエンジン (リアル) 毎月分配型	楽天	12.7	26.9	20.8	636	-29	-76
ドイチェ・グローバルREIT 投信 (ブラジルレアル) (毎月分配型)	ドイチェ	12.2	16.6	29.2	245	10	-13
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型) ブラジルレアル	AM-One	12.2	20.6	34.2	769	127	607
東京海上J-REIT 投信 (ブラジルレアル) 年2回決算型	東京海上	11.9	22.1	35.3	49	-5	-20
東京海上J-REIT 投信 (ブラジルレアル) 毎月分配型	東京海上	11.8	21.8	34.9	629	-1	-87
野村北米REIT 投信 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型	野村	10.8	14.8	31.5	93	0	1
通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクト (毎月分配型)	大和	8.1	6.9	1.4	86	-1	-11
DIAMオーストラリアリートオープン (A-REIT)	AM-One	7.4	6.1	3.9	621	-21	-94
東京海上J-REIT 投信 (米ドル) 毎月分配型	東京海上	7.3	16.0	4.7	327	-25	-65
東京海上J-REIT 投信 (米ドル) 年2回決算型	東京海上	7.3	16.0	4.7	236	-21	-53
欧州REIT・リサーチ・オープン (毎月決算型)	三井住友トラスト	7.2	7.4	-16.6	39	-2	-15
ドイチェ・グローバルREIT 投信 (米ドル) (毎月分配型)	ドイチェ	6.9	9.8	-0.0	86	4	16
通貨選択型米国リート・αクワトロ (毎月分配)	大和	6.8	8.6	22.4	205	36	128
野村グローバルREITプレミアム (通貨セレクト) 毎月分配	野村	6.8	9.9	2.0	276	-5	-38
インフラ 関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (米ドル)	岡三	6.7	22.8	-3.7	365	-16	-33

💡 2年ぶりの資金流出超

- 複合資産型からの資金流出は、実に2014年11月に記録して以来となった。ラップ型ファンドを中心とする資金流入上位ファンドの水準に大きな変化はないことから、従来のバランスファンド等からの資金流出が大きかったものと考えられる。
- リターンについては、相場環境が良好であるため、リスク資産の割合が高いファンドが上位を占める傾向が継続している。

<資金流入金額推移>



<資金流入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上	185	1,108	1,962	2,825	0.6	-0.3
スマート・ファイブ(毎月決算型)	日興	91	380	508	757	0.8	-0.6
JPMベスト・インカム(毎月決算型)	JPモルガン	87	285	416	798	2.0	4.1
スマート・プロテクター90(限定追加型)2016-12	三菱UFJ国際	64	64	64	64	-	-
アムンディ・ダブルウォッチ	アムンディ	53	191	305	306	0.5	-0.2
トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJ国際	44	160	221	1,133	1.3	-0.4
アセットアロケーション・ファンド(安定型)	三井住友	40	209	288	382	1.9	4.7
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	三井住友	36	112	169	269	2.9	9.1
ニッセイオーストラリア利回り資産F(毎月決算型)	ニッセイ	32	111	202	274	2.8	13.8
新生・ワールドラップ・セレクト	新生	32	32	32	32	-	-
東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	東京海上	30	139	217	252	0.6	-0.3
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	三井住友	24	90	152	251	3.7	12.2
JPMベスト・インカム(年1回決算型)	JPモルガン	22	56	90	231	2.0	4.1
投資のソムリエ	AM-One	21	51	48	375	0.9	0.8
スカイオーシャン・コアラップ(安定型)	スカイオーシャン	18	14	24	111	1.9	4.1

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ハッピーエイジング・ファンド20	損保日本興亜	4.8	27.4	2.7	88	-1	-0
トヨタグループ・バランスファンド	三井住友	2.9	27.4	-0.4	80	-6	-7
エマージング・プラス(成長戦略)	日興	8.2	24.8	20.5	167	-8	-33
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(ブラジルリアル)	日興	9.0	23.7	33.0	295	-6	-40
インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.1	23.1	19.1	113	-14	-38
インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.1	23.0	19.2	107	-11	-33
ハッピーエイジング・ファンド30	損保日本興亜	4.2	22.1	2.4	108	0	1
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(インドルピー)	日興	5.8	21.1	12.7	60	-2	-7
インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散	AM-One	7.1	21.0	21.7	127	-5	-21
グローバル・アロケーションF年2回決算・ヘッジなし(目標払出し型)	AM-One	5.9	20.7	0.3	101	-7	-25
グローバル・アロケーションF毎月決算・ヘッジなし(目標払出し型)	AM-One	5.8	20.5	-0.5	1,089	-61	-303
ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株)2021-01	大和	7.6	18.1	26.1	126	-13	-46
日興BR・ハイ・クオリティ・アロケーションF(為替ヘッジなし)	三井住友	4.9	17.9	-1.1	1,344	-117	-402
UBSニュー・メジャー・バランス・ファンド(毎月分配型)	UBS	5.5	17.9	9.8	112	-2	-10
グローバル・アロケーション・オープンB(年4回決算)	AM-One	4.8	17.7	-1.1	1,353	-62	-210

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

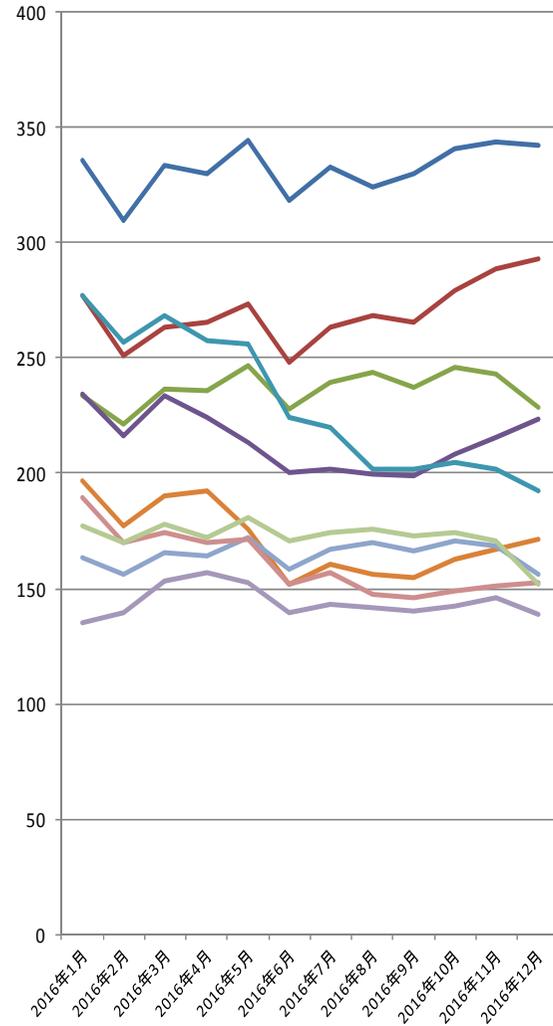
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(ブラジルリアル)	日興	9.0	23.7	33.0	295	-6	-40
エマージング・プラス(成長戦略)	日興	8.2	24.8	20.5	167	-8	-33
ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株)2021-01	大和	7.6	18.1	26.1	126	-13	-46
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略)	日興	7.3	5.1	22.6	65	-2	-10
インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散	AM-One	7.1	21.0	21.7	127	-5	-21
インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.1	23.1	19.1	113	-14	-38
インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.1	23.0	19.2	107	-11	-33
グローバル・アロケーションF年2回決算・ヘッジなし(目標払出し型)	AM-One	5.9	20.7	0.3	101	-7	-25
グローバル・アロケーションF毎月決算・ヘッジなし(目標払出し型)	AM-One	5.8	20.5	-0.5	1,089	-61	-303
野村カルミニヤック・ファンドB	野村	5.8	12.9	-2.9	132	-2	-3
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(インドルピー)	日興	5.8	21.1	12.7	60	-2	-7
グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	5.6	15.1	3.0	177	-5	-9
シュローダー・インカムアセット・アロケーションA(毎月決算型)	シュローダー	5.6	17.4	3.4	64	1	-1
UBSニュー・メジャー・バランス・ファンド(毎月分配型)	UBS	5.5	17.9	9.8	112	-2	-10
資源ツインαファンド(通貨選択型)米ドル	T&Dアセット	5.1	-1.1	-5.5	90	5	25

【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移1

＜純資産残高上位10ファンド1＞

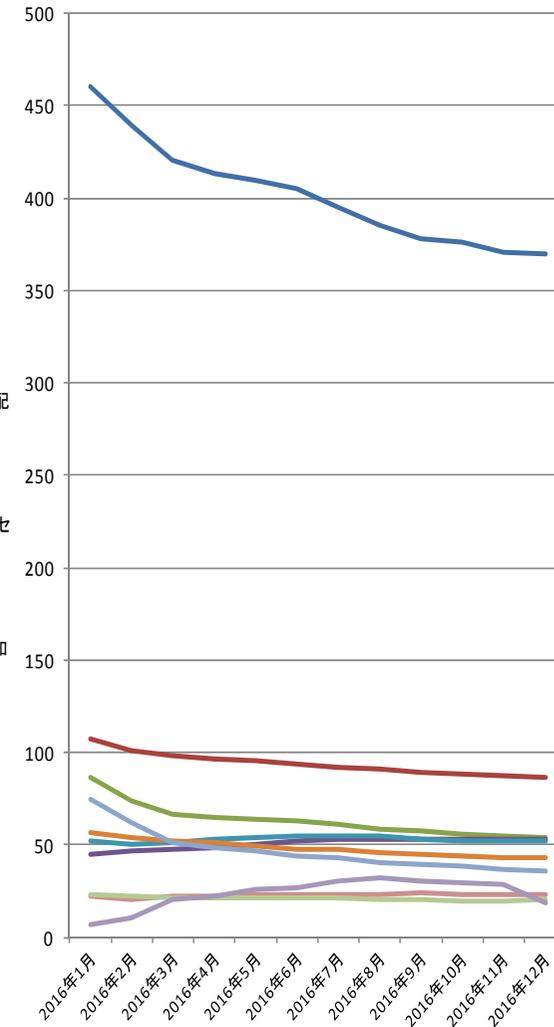
■国内株式

(10億円)



■国内債券

(10億円)

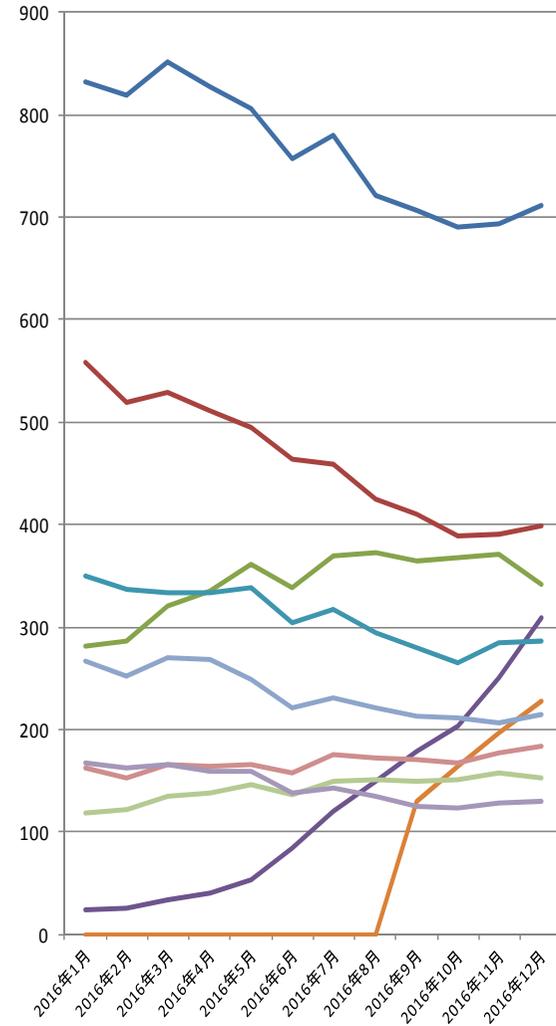


【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移2

<純資産残高上位10ファンド2>

■先進国株式

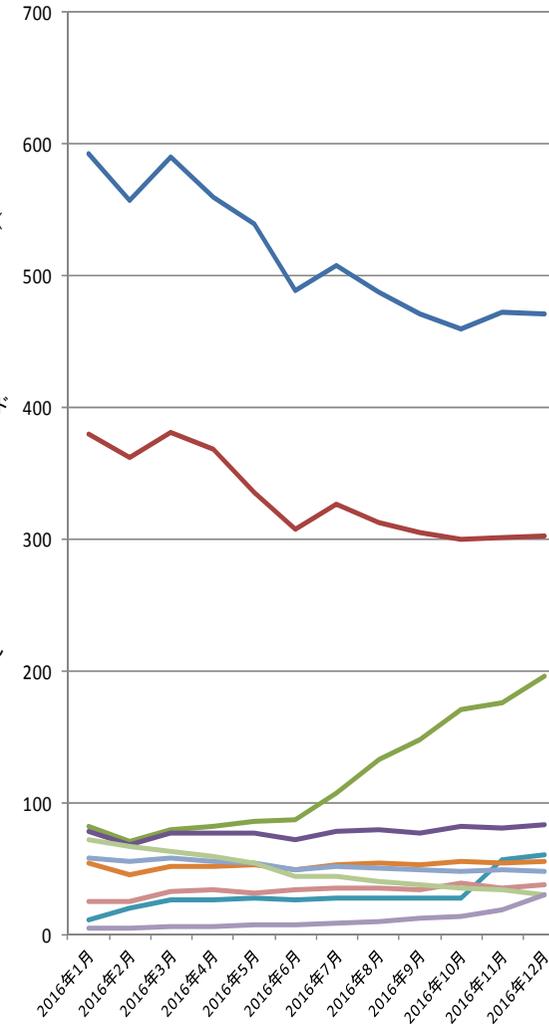
(10億円)



- ピクテ・グローバル・インカム株式F (毎月分配型)
- 野村ドイチェ高配当インフラ関連株投信(米ドル)毎月
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
- LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)
- グローバル・ヘルスケア&バイオF
- グローバルAIファンド
- 野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配
- ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)
- アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D

■エマージング株式

(10億円)

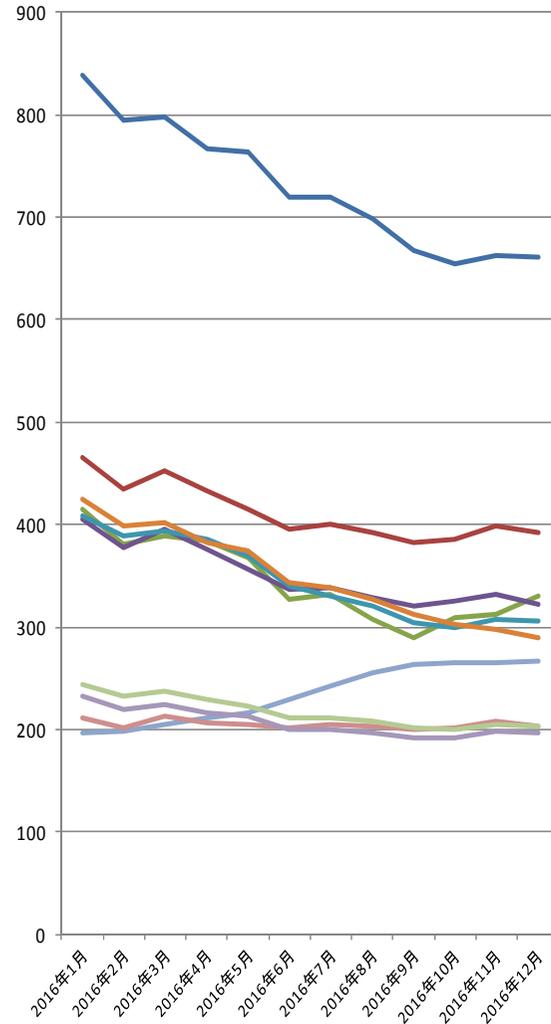


- アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
- ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
- 野村インド株投資
- イーストスプリング・インド株式オープン
- ダイワ/ミレーアセット垂細垂株式ファンド
- HSBCインドオープン
- 三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン
- HSBCブラジルオープン
- アジア・ヘルスケア株式ファンド
- 中華圏株式ファンド(毎月分配型)

＜純資産残高上位10ファンド3＞

■先進国債券

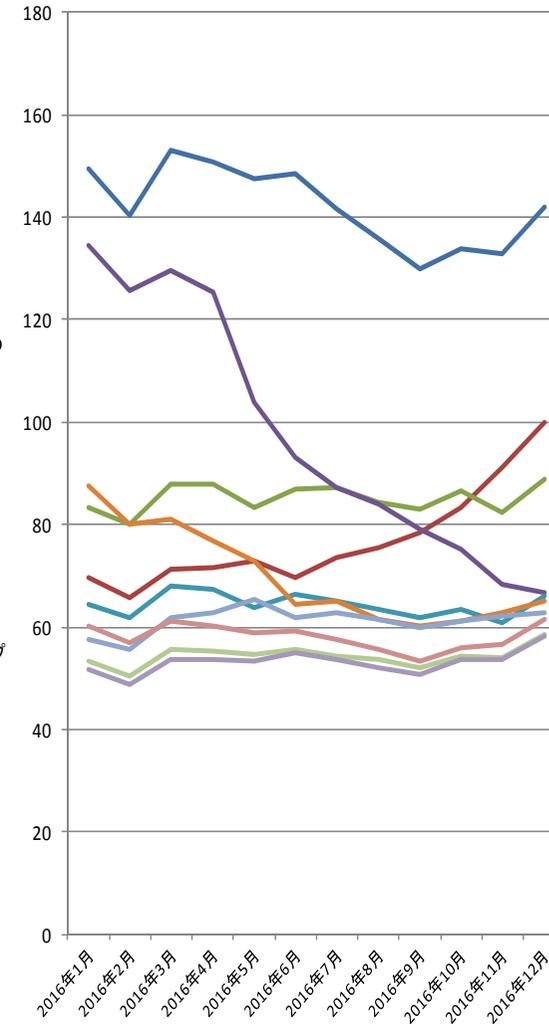
(10億円)



- グローバル・ソプリン・オープン(毎月決算型)
- ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)
- 野村テンブルトン・トータル・リターンD
- 短期豪ドル債オープン(毎月分配型)
- ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)
- 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
- UBS世界公共インフラ債券投信円(毎月分配型)
- 三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
- ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)

■エマージング債券

(10億円)

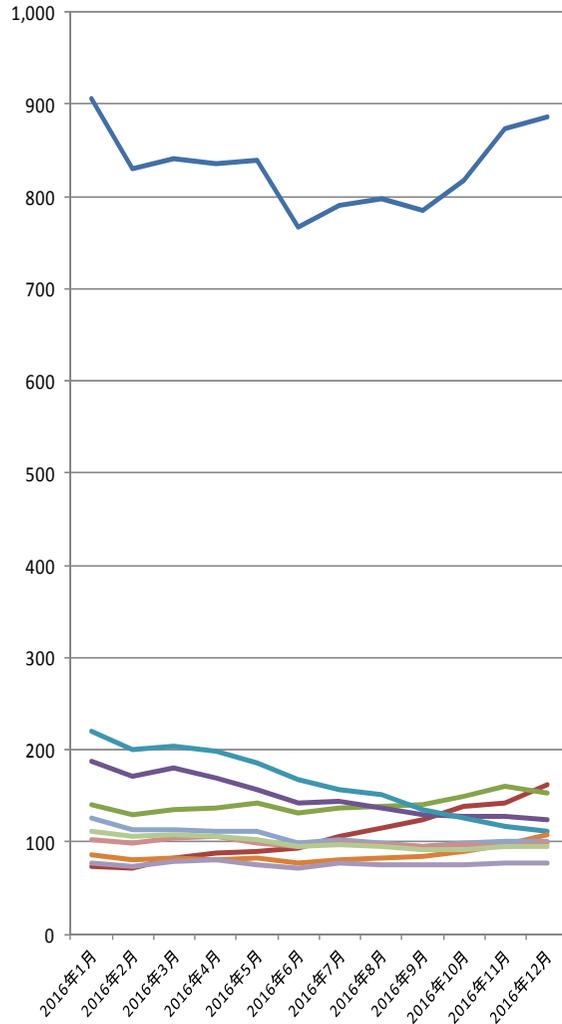


- ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- 野村インド債券ファンド(毎月分配型)
- 三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)
- 日興ピムコ・ハイインカム・ソプリンF毎月(トルコリラ)
- (通貨選択E B F) ブラジルリアルコース(毎月分配型)
- インド債券ファンド(毎月分配型)
- ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)
- 新光ブラジル債券ファンド
- ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)
- LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)

<純資産残高上位10ファンド4>

■ハイイールド債券

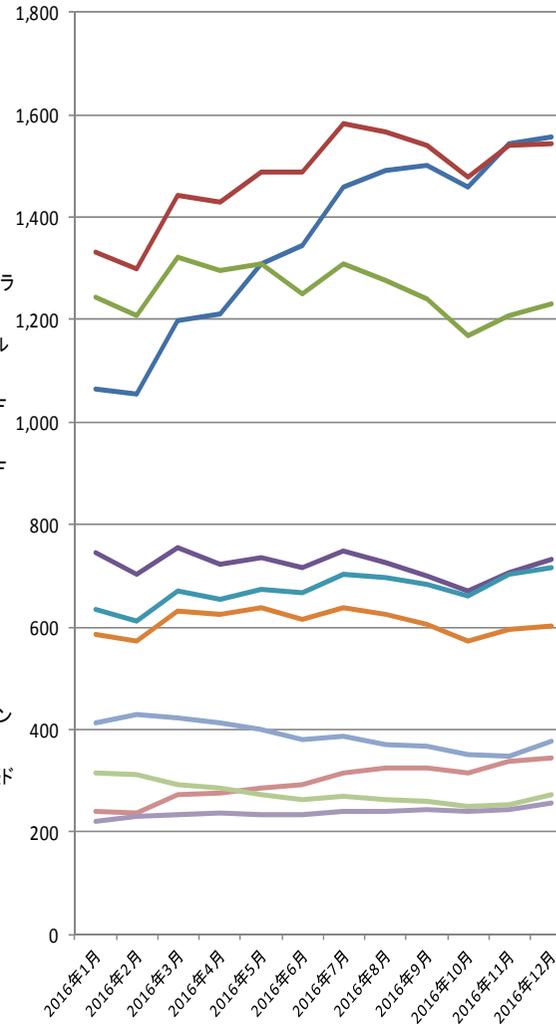
(10億円)



- フィデリティ・USハイ・イールドF
- 野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型
- フィデリティ・グローバル・ハイ・イールドF (毎月決算型)
- アムンディ・欧州ハイ・イールド債券F (豪ドル)
- アムンディ・欧州ハイ・イールド債券F (トルコリラ)
- みずほUSハイイールドオープンB
- GSハイ・イールド・ボンド・ファンド
- 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨)毎月分配型
- ビムコハイ・インカム毎月分配型ファンド
- 野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドル)毎月分配型

■REIT

(10億円)



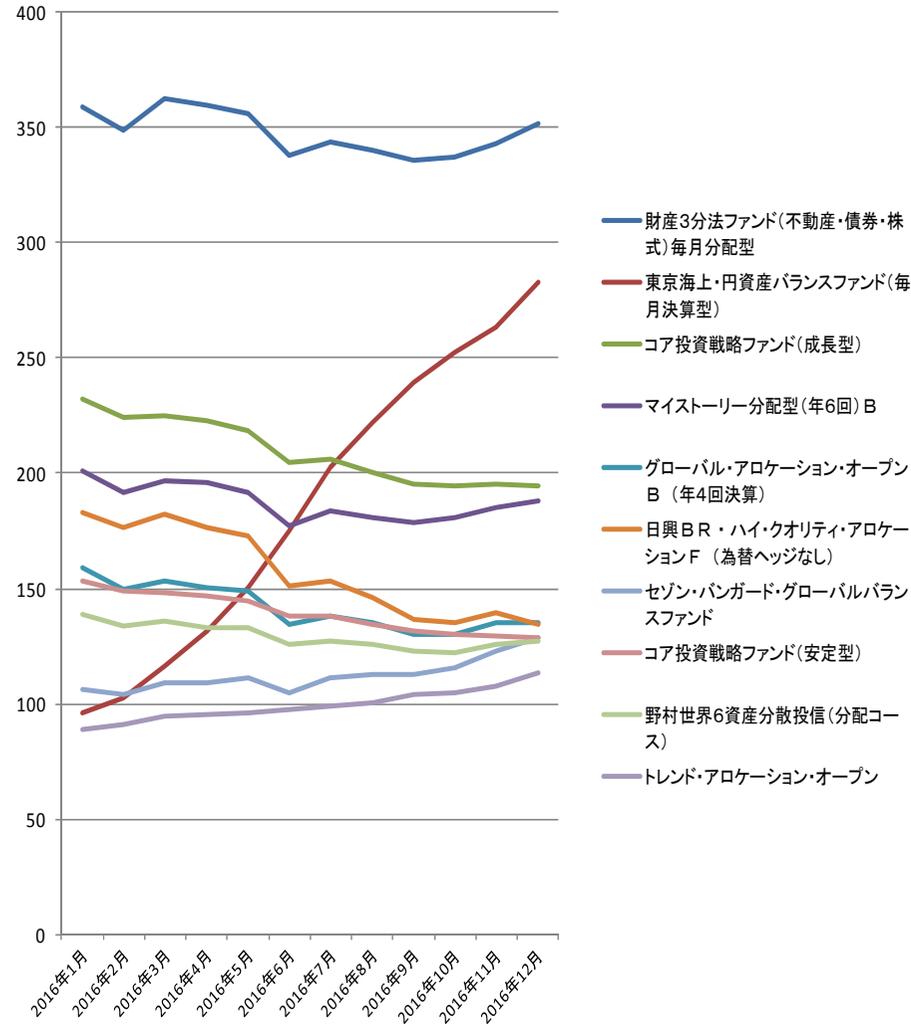
- フィデリティ・USリート・ファンドB
- 新光US-REITオープン
- ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)
- ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし
- ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)B
- ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
- J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)
- GS米国REITファンドB (毎月分配型・為替ヘッジなし)
- ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)
- しんきんJリートオープン(毎月決算型)

【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移5

<純資産残高上位10ファンド5>

■ 複合資産

(10億円)



- **国内株式型**

国内株式を主たる投資対象とするファンド。

- **国内債券型**

国内債券を主たる投資対象とするファンド。

- **外国株式型**

外国株式のうち、先進国の株式を主たる投資対象とするファンド。先進国とはMSCI-KOKUSAI構成国とします。

- **エマージング株式型**

外国株式のうち、新興国の株式を主たる投資対象とするファンド。新興国とはMSCIワールドに含まれない国とします。

- **外国債券型**

外国債券のうち、先進国の債券を主たる投資対象とするファンド。先進国とはシティWGBI採用国とニュージーランドとします。

- **エマージング債券型**

外国債券のうち、新興国の債券を主たる投資対象とするファンド。新興国とはシティWGBIに含まれない国からニュージーランドを除いた国とします。

- **ハイイールド債券型**

外国債券のうち、ハイイールド債券を主な投資対象とするファンド。ハイイールド債券とはエマージング債券を含めて格付けBB以下の投資不適格債とします。

- **複合資産型**

株式および債券を主たる投資対象とするバランス型ファンド。

- **REIT(不動産投信型)**

REITを主たる投資対象とするファンド。国内REIT、外国REIT双方を含みます。

- **その他**

上記いずれの分類にも属さないファンド。CBファンドもこの分類に入ります。

2017年1月 今月のトピック

『変額保険のメリットとは？』

アナリスト 和田 年弘

2017年1月17日作成

今回は、投信と並んで金融機関の窓口販売の主要商品となっているものの、内容がわかりにくいとされる「変額保険」についてご紹介します。

『ポイント』

- 弊社が2016年中に運用内容の詳細に接することができた商品の大部分が、外貨での一括払込み保険料の100%を満期返戻金として外貨で元本保証し、さらに運用益がプラスとなった場合に上乗せされるタイプでした。
- 払込み保険料のほとんどを元本確保のための安定運用とし、残りのわずか数%~十数%で全体の運用を担うことになるため、運用部分ではレバレッジをかけて高いリスクを取る構造になっています。また、運用対象は、新興国を含む内外株式・債券で、一部には内外REITやコモディティもあり、リスクは高めです。
- 払込みも満期返戻金も外貨であること、運用部分のリスクはかなり高いこと、運用に関わるコストが不透明（通常の投信に比較してかなり高い）なこと等から、外貨で運用したい、ハイリスク・ハイリターンを狙いたい、相続対策という保険商品のメリットも欲しい、といった顧客にフィットした商品と言えるでしょう。

■運用面から見た変額保険いろいろ

変額保険は生命保険としての側面と投資商品としての側面を併せ持っていますが、そのために商品性が複雑になり、投資家から見てわかりにくい構造となっています。また、パフォーマンスやコストの開示が必ずしも十分ではないこと、特に募集期間終了後の情報が得にくいこと、全体像をタイムリーに把握できるデータが開示されていないこと等から、他の商品との比較や変額保険相互間の比較が困難です。このレポートでは、弊社が2016年中に運用内容の詳細に接することができた約10シリーズ(20件強)の商品を分析対象としました。

表1. 今回分析対象とした変額年金の種類

払込保険料の元本保証(注1)	通貨	積極運用部分の投資対象	積極運用部分の運用手法	積極運用部分のレバレッジ	積極運用部分における価格急落時の下値限定プロセス
保証なし	円	内外債券、内外株式。 商品によって、内外REIT、新興国債券・株式、為替、コモディティ、ヘッジファンド等を組み入れる場合がある。	各資産の基本組み入れ比率は原則として固定。運用会社が1年ごとに定量・定性両面から変更の要否を判断。	なし	なし
保証あり	円		経済指標や市場データを予め決められたルールに則って処理し、その結果に基づいて各資産の組み入れ比率が自動的に変更される。	あり (上限は300% ~800%)	約半数の商品について、市場リスクが高まった時点で、投資対象の変更やボラティリティの調整といった、下値リスク限定のためのプロセスが組み込まれている。
	米ドル				
	豪ドル				

注1: 満期時解約返戻金が払込保険料の100%となることの保証。死亡保険金はすべての商品で保証されている。

払込保険料の元本保証がない商品は1件だけだったため分類はできませんでしたが、過去に販売された変額保険にはこのタイプが多かったようです。

分析対象のほとんどは元本保証がある米ドル建または豪ドル建でした。円建だと金利が極めて低いため運用部分に充当できる資金が少額になること、販売側が米ドルや豪ドルの外貨預金満期金の受け皿としての商品開発を優先したこと等が背景にあると考えられます。

■個別商品比較(1)

最近の販売の主流となっていると思われる外貨建て払込保険料の保証を行うタイプの運用手法について、4商品を抽出して比較しました。細かい部分で差異はあるものの、どれも似通った構造となっています。

表2.積極運用部分の比較

商品名(注2)	運用期間	運用方針	リスク目処	レバレッジ上限	実質的な投資対象	組み入れ比率変更の運用判断プロセス	市場リスク上昇時の対応
変額年金保険A	10年	20%程度のボラティリティで最大のリターンを目指す。	20%	500%	内外株式、内外債券、新興国株式、新興国債券、国内REIT、米国REIT、コモディティ、ヘッジファンド	運用会社の定性判断が中心。	なし
変額終身保険B	15年 または 20年	ルール通りに計算された参照指数に連動を目指す。	24-45%	300%	内外株式、内外債券、金、為替	定量データで自動的に判断。	市場リスクの高低により、投資対象変更の仕組みあり。
変額年金保険C	10年 または 15年	ルール通りに計算された参照指数に連動を目指す。	30%	500%	世界の株式、債券、為替、商品	定量データで自動的に判断。	なし
変額年金保険D	10年 または 20年	ルール通りに計算された参照指数に連動を目指す。	20-45%	300-500%	株式ポート: 日米欧株式 分散ポート: 内外株式、内外債券	定量データで自動的に判断。	市場リスクの高低により、株式ポートと分散ポートとを切替。

注2: いずれの商品も、米ドル建コースと豪ドル建コースが用意されている。ここでは、すべて米ドル建コースの条件を抽出している。

■個別商品比較(2)

運用期間

払い込まれた保険料の大部分は元本確保のための安定運用に充当され、残りが運用収益獲得のための積極運用に充当されます。安定運用は、一般的に、払込み時の当該通貨建割引債券に投資したと同等の成果となります。従って、金利の低い通貨では払込保険料に占める安定運用の割合が高く積極運用部分の割合が低いため、それをカバーするために運用期間が長くなる傾向にあります。

運用方針

積極運用部分は、指数連動債券や指数への連動を目指す投資信託に投資されます。これらの債券や投資信託は、それぞれが連動を目指す指数と同等のリターンを得るため、スワップやオプション等のデリバティブ契約を外部(通常、グローバルに展開している信用力の高い証券会社)と締結します。積極運用部分が連動を目指す指数は、一般的な指数(TOPIXやS&P500指数等)ではなく、内外株式・債券といった実質的な投資対象のパフォーマンスを合成した特殊な指数(カスタム指数)になります。

リスク目処

積極運用部分で高いリターンを追求することから、高いリスクをとる必要があります。通常、リスクは常時管理され、目処値からの乖離が大きくならないようにレバレッジを調整します。

レバレッジ上限

積極運用部分では、高いリターンを狙って高いリスクをとるため、レバレッジをかけます。この欄の数字は、これ以上のレバレッジをかけてはならない、という上限値です。市場動向にもよりますが、通常、この上限値の1/3~2/3程度で推移することが多いようです。

■個別商品比較(3)

実質的な投資対象

どの資産を組み入れるかは、商品によって異なります。通常、この欄で示した投資対象の指数の先物を組み入れ対象とする場合がほとんどです。

組み入れ比率変更の運用判断プロセス

どの資産をどれだけ組み入れ、どのタイミングで組み入れ比率の変更を行うか、が運用のキーポイントとなります。これは、一般的なバランスファンドにおけるアセットアロケーション戦略と同じですが、変額保険では運用期間が長期にわたることから、より安定的かつ明示的な判断プロセスとするため、定量データの変動によって自動的に組み入れ比率の変更を行うケースが多いようです。

ただし、このプロセスでは運用者の判断が入らないため、商品組成時に想定していなかった種類のリスクが発生した場合に対応できない可能性があることから、あえて運用者による定性判断を重視する商品もあります。

市場リスク上昇時の対応

市場リスクの変動によって各資産の組入れ比率を変更するのは共通した手法ですが、一部の商品では下値リスク抑制のために、一定以上の変動が発生した場合、リスクを下げたポートフォリオに変更する、セーフガード的なルールを有するものもあります。

こういったルールは、運用成績の極端な悪化を防ぐメリットがある一方で、悪化したパフォーマンスを固定してしまうというデメリットがあります。運用の初期の段階で運用資産が急減した状態で固定してしまうと、残りの運用期間では事実上ほとんど運用が出来なくなる可能性もあります。10年～20年といった長い運用期間を考えると、こういったルールは一長一短と言えるでしょう。

■リスクとリターン

変額保険の運用部分という商品の性格上、実際の運用結果のフォローが難しいため、運用実績の比較は出来ません。代替として、表2. で抽出した4商品について、各商品の組成時に行われたシミュレーションによるリスクとリターンを比較してみました。参考までに、一般的にリスクが高いと考えられる資産の直近5年間のリスクとリターンも掲載しています。レバレッジがかけられているため、リスクが大きいのは当然ですが、リターンは必ずしも高いとは言えないようです。

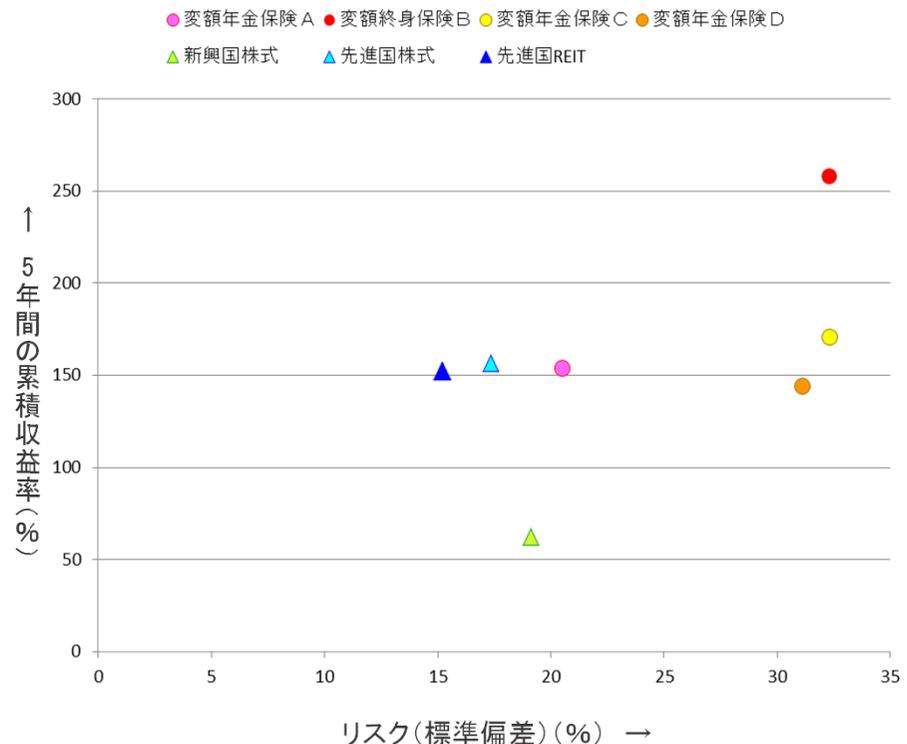
表.3 積極運用部分と高リスク資産の直近5年の累積収益率と標準偏差(リスク)

商品名	リスク 目処	レバレッジ 上限	直近5年 累積収益 (注:4)	直近5年 標準偏差 (リスク) (注:4)
変額年金保険A	20%	500%	153.89%	20.50%
変額終身保険B	24-45%	300%	258.00%	32.30%
変額年金保険C	30%	500%	171.20%	32.30%
変額年金保険D	20-45%	300-500%	144.18%	31.10%
新興国株式(注:3)	—	—	62.24%	19.09%
先進国株式(注:3)	—	—	156.80%	17.35%
先進国REIT(注:3)	—	—	151.92%	15.22%

注3: 各市場を代表するインデックスを使用。

注4: 変額保険は各商品組成時点でのシミュレーション5年間分、各市場を代表するインデックスは直近5年間、の月次データに基づいて計算。それぞれに計算対象期間が異なるため、本来であれば同一の図表に載せるべきではないが、リスクとリターンのおおまかな関係をイメージするために敢えて表3. および図1.に記載した。

図1: 積極的運用部分と代表的な高リスク資産のリスクとリターン



■ 変額保険のコスト

変額保険のコストは主に、保険関係費用と運用関係費用に大別されます。保険関係費用は保険商品としての費用であり、運用関係費用は投資信託の運用関係費用(信託報酬)に相当する部分です。

下表のとおり、保険関係費用は明示されているものの、運用関係費用は非開示のものが多くなっています。投信を主要投資対象とする場合は運用関係費用が開示されていますが、実際にはその投資信託が連動対象とするカスタム指数の組成・管理に関する費用(下表における参照指数コスト)が別途引き落とされており、実質的な顧客が支払うコストがいくらなのかわかるケースはほとんどありません。

変額保険はあくまで保険の一種であり、そのコストを投信と単純に比較する事は出来ませんが、積極運用タイプのバランス型投信の運用管理費用の平均が1%台であることを考えると、割高感は否めません。

表.4 変額年金のコスト(いずれも税抜き)

保険商品名	保険関係費用	運用関係費用	参照指数コスト	合計
変額年金保険A	1.85%	0.31%	1.36%(注6)	3.52%以上
変額終身保険B	1.85%	0.20%	4.20%(注6)	6.25%以上
変額年金保険C	2.25%	—(注5)	—(注5)	2.25%以上
変額年金保険D	1.85%	0.20%	3.41%	5.46%

注5: 非開示

注6: これ以外にも開示されていないコストが発生する可能性が高い。

変額年金保険Dを組成した生命保険会社は、コストの開示に積極的に取り組んでいます。全体の中ではまだ一部の動きですが、最終投資家の利益のために業界全体として積極的に開示をすすめていくことが望まれます。

■メリットとデメリット

最後に、変額保険(外貨建て、払込み保険料の全額を保証しつつ、積極運用部分での投資収益を上乗せするタイプ)のメリット、デメリットについてまとめてみました。

外貨で運用したい、多少のコストがかかってもいいから面倒なくハイリスク・ハイリターンの運用を行いたい、相続対策を行いつつ運用も行いたい、といったニーズを有する顧客には魅力的な商品となるでしょう。

その場合でも、10年～20年といった長い運用期間を踏まえた上でのリスクとリターンの予測とその条件について、十分な説明が望まれます。

メリット

- 外貨預金が満期を迎え、まとまった外貨資金がある等、外貨で運用を行いたい場合の選択肢が広がる。
- 分散投資に伴う組み入れ比率の調整や、レバレッジの変更といった手間が一切かからない。
- 生命保険の基礎控除、受取人の指定等、投信等の一般的な運用商品に比較して、相続対策としても有効。

デメリット

- 一般的にコストが高く、また、コストの総額がわからない商品が多い。
- 積極運用部分では、レバレッジが大きく、ハイリスク・ハイリターン運用となる。
- コスト、運用内容とも開示が十分とは言えず、他商品との比較が困難。
- 円貨をベースとして投資する場合は長期にわたって為替変動リスクを負うことになる(特約を付けることで為替リスクを回避できる商品もある)。

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- MAB投信指数「MAB300」(以下、本指数)に関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標(しめぎ)・佐藤・竹内・大野

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会